

支え合いのまちづくり

小地域福祉ネットワーク

活動推進事業

令和元年度実施地区報告集



社会福祉法人 千歳市社会福祉協議会

はじめに

新型コロナウイルス感染症の拡大により、人同士のコミュニケーションが困難となる中、孤立や孤独などの生活課題に対して、つながりを絶やさないための活動を懸命に続けている町内会の皆様には深く敬意を表す次第です。

地域では、少子高齢化の急速な進行や家族形態の変化により、ひとり暮らしの高齢者や周囲との交流が少なく孤立して暮らす方が増えており、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、住民同士がお互いに気かけ見守り支え合う関係を日ごろからつくっていくことが求められています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の広がり、人と人との互いに距離を取り、接触する機会を避けるなどの工夫が求められ、地域住民等による福祉活動やボランティア活動は休止や延期等活動自粛を余儀なくされています。

この間、閉じこもりによる高齢者の虚弱化の進行、社会的孤立の深刻さ等が増しています。一方でこうした状況は、誰かとつながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さを私たちに教えてくれました。

このような状況の中、本会では、町内会の皆様のご協力をいただき小地域における福祉ネットワークづくりの充実と福祉委員活動の展開を側面から応援させていただくことを目的に、小地域福祉ネットワーク活動推進事業を実施しております。令和元年度は、市内 147 町内（自治・連合）会のうち 83 の地区において、延べ 454 事業に取り組み、地域の実情を反映した創意あふれる活動が展開されました。

本実施報告集は、各地域における実践活動についてまとめた報告となっておりますので、今後の小地域福祉ネットワーク活動に資するひとつの参考としていただければ幸いです。

令和3年1月

社会福祉法人千歳市社会福祉協議会

会長 力示 武文

小地域福祉ネットワーク活動推進事業

令和元年度の実施状況

1 小地域福祉ネットワーク活動推進事業とは

高齢化、核家族化などの進行による地域福祉の充実強化が重要視され、特に小地域における自主的な民間福祉活動の展開が急務となってきています。

小地域福祉ネットワーク活動推進事業は、その具体的なひとつの手だてとして小地域における福祉活動の協力者となる「福祉委員」制度を展開し、より一層小地域の特性を生かした福祉ネットワークづくりの充実と福祉委員活動の展開を側面的に援助させていただくことを目的に実施します。

事業を実施する町内（自治）会には、活動費として世帯数や福祉委員人数に応じて助成金を交付させていただきます。

2 令和元年度は 83 町内会に助成し、事業数は延べ 454 事業に取り組まれました

令和元年度は、市内 147 町内会のうち 83 町内会において、啓発活動、調査活動、交流活動、在宅福祉サービス活動の四分野にわたり、延べ 454 事業に取り組まれました。

事業をスタートさせた平成 6 年度からの実施地区数は次のとおりです。

これまでの実践地区（町内会）数

年度	H 6	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
地区	23	30	33	37	48	51	61	67	67	67	71

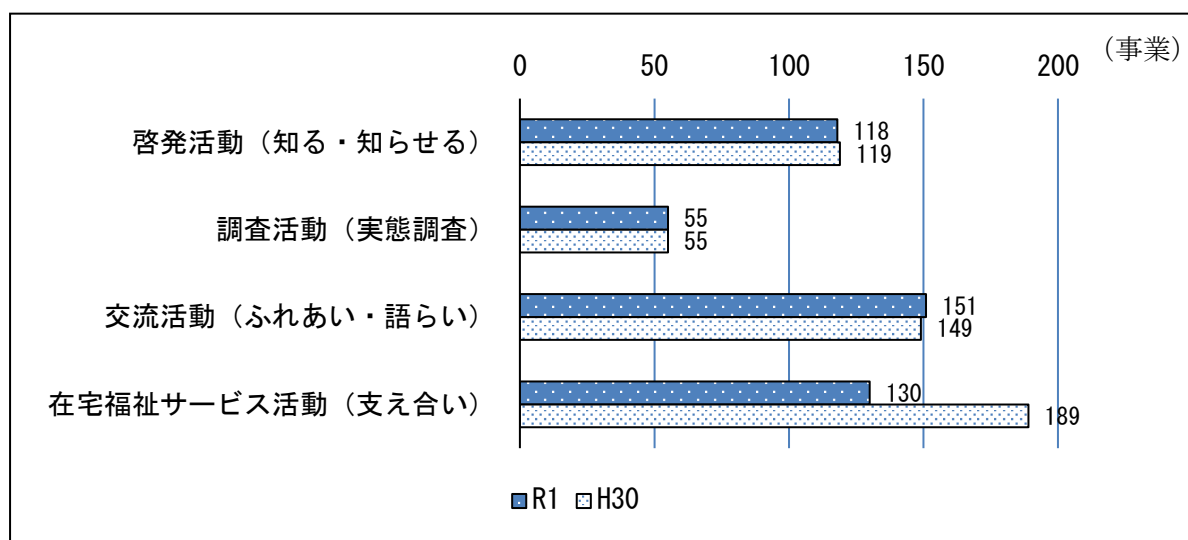
年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
地区	70	74	76	77	80	84	85	87	85	88	86

年度	H28	H29	H30	R1
地区	89	91	93	83

3 令和元年度の取り組み状況

令和元年度の取り組み状況を「啓発活動（知る・知らせる）」「調査活動（実態調査）」「交流活動（ふれあい・語らい）」「在宅福祉サービス活動（支え合い）」の分野別に分類し集計した結果は、見守りや声かけ等の「在宅福祉サービス活動（支え合い）」が132事業と最も多く取り組まれましたが、新型コロナウイルスの影響により事業を中止したことから、前年度と比べて57事業減少しています。

図1 活動種類別と事業数



4 令和元年度に町内会で取り組まれた主な事業（上位10事業）

令和元年度に町内会で取り組まれた主な事業は、1位が「各種行事を通じた交流」で69町内会、2位が「会議・福祉委員会」で63町内会、続いて3位が「見守り声かけ活動」で47町内会となっています。

令和元年度全体の事業は、次項の「令和元年度事業一覧」のとおりです。

順位	事業名	町内会数	活動分野
1位	各種行事を通じた交流	69	交流活動
2位	会議・福祉委員会	61	啓発活動
3位	見守り声かけ活動	46	在宅福祉サービス活動
4位	ふれあいサロン活動	44	交流活動
5位	訪問活動	43	在宅福祉サービス活動
6位	研修会参加・施設見学	31	啓発活動
7位	世帯名簿作成・更新	29	調査活動
8位	世帯調査・福祉マップ	26	調査活動
9位	除雪支援活動	25	在宅福祉サービス活動
10位	日帰り旅行	23	交流活動

令和元年度事業一覧

※147 町内会中の割合

活動の種類	事業名	町内会数	% ※
啓発活動 (知る・知らせる)	会議・福祉委員会	61	41.5%
	福祉懇談会	3	2.0%
	福祉だよりの発行	15	10.2%
	研修会参加・施設見学	31	21.1%
	勉強会・研修会の実施	8	5.4%
調査活動 (実態調査)	世帯調査・福祉マップの作成	26	17.7%
	世帯名簿作成・更新	29	19.7%
交流活動 (ふれあい・語らい)	各種行事を通じた交流	69	46.9%
	ふれあいサロン活動	44	29.9%
	日帰り旅行	23	15.6%
	会食会等	15	10.2%
在宅福祉 サービス活動 (支え合い)	見守り・声かけ活動	46	31.3%
	訪問活動	43	29.3%
	除雪支援活動	25	17.0%
	緊急時・災害時の支援活動	2	1.4%
	日常生活支援活動	12	8.2%
	子育て支援	2	1.4%

小地域福祉ネットワーク活動推進事業 令和元年度実施地区一覧

(順不同)

1	本町自治会	・ ・ P 6～7	46	富丘 2 丁目町内会	・ ・ P 47～49
2	本町南自治会	・ ・ P 7～8	47	富丘 3 丁目南町内会	・ ・ P 49～50
3	朝日町西自治会	・ ・ P 8	48	富丘 3 丁目北町内会	・ ・ P 50
4	朝日町東自治会	・ ・ P 9～10	49	富丘 4 丁目東町内会	・ ・ P 51～52
5	若草町内会	・ ・ P 10～11	50	富丘西町内会	・ ・ P 52～53
6	里美町内会	・ ・ P 11～12	51	末広東町内会	・ ・ P 53～54
7	白樺町内会	・ ・ P 12～13	52	末広中区町内会	・ ・ P 54
8	柏陽町内会	・ ・ P 13～14	53	花園町内会	・ ・ P 55
9	福住町内会	・ ・ P 14～15	54	高台町内会	・ ・ P 55～56
10	文京町内会	・ ・ P 15～16	55	東高台町内会	・ ・ P 56
11	錦町 3 丁目町内会	・ ・ P 16～17	56	稲穂町内会	・ ・ P 56～58
12	清水町 3 丁目町内会	・ ・ P 17	57	清流町内会	・ ・ P 58～59
13	清水町 5 丁目町内会	・ ・ P 17	58	青葉 3 丁目町内会	・ ・ P 59
14	栄町西区町内会	・ ・ P 17～18	59	青葉 4 丁目町内会	・ ・ P 60
15	栄町東町内会	・ ・ P 18	60	青葉 5 丁目町内会	・ ・ P 60～61
16	春日町 2 丁目町内会	・ ・ P 19～20	61	青葉 6 丁目町内会	・ ・ P 61～62
17	春日町 3 丁目町内会	・ ・ P 20～21	62	青葉丘町内会	・ ・ P 62
18	大和 2 丁目町内会	・ ・ P 21	63	住吉 2 丁目町内会	・ ・ P 63～64
19	桂木 1・2 丁目町内会	・ ・ P 22	64	住吉北町内会	・ ・ P 64～65
20	桂木 3・4 丁目町内会	・ ・ P 22～23	65	住吉 4 丁目町内会	・ ・ P 65～66
21	桂木 5・6 丁目町内会	・ ・ P 23～24	66	住吉 5 丁目町内会	・ ・ P 66～68
22	新星町内会	・ ・ P 24～25	67	東郊町内会	・ ・ P 68
23	北斗南町内会	・ ・ P 25	68	豊里町内会	・ ・ P 68～69
24	北斗 2 丁目自治会	・ ・ P 25～26	69	あけぼの団地町内会	・ ・ P 69～70
25	北斗 3 丁目町内会	・ ・ P 26～27	70	日の出東町内会	・ ・ P 70～71
26	北斗西町内会	・ ・ P 27～28	71	日の出北町内会	・ ・ P 71～72
27	北斗北町内会	・ ・ P 28～29	72	梅ヶ丘 1 丁目町内会	・ ・ P 72～73
28	自由ヶ丘町内会	・ ・ P 29	73	旭ヶ丘町内会	・ ・ P 73～74
29	桜木町内会	・ ・ P 29～30	74	弥生町内会	・ ・ P 74～75
30	北栄南町内会	・ ・ P 30～32	75	寿町内会	・ ・ P 75～76
31	北栄東町内会	・ ・ P 32～33	76	幌加連合会	・ ・ P 76～77
32	新富西町内会	・ ・ P 33	77	協和連合会	・ ・ P 77
33	新富東町内会	・ ・ P 34	78	新川連合会	・ ・ P 77
34	新富中町内会	・ ・ P 35～36	79	東丘連合会	・ ・ P 77～78
35	新富北町内会	・ ・ P 36～37	80	支笏湖自治振興会	・ ・ P 78～79
36	信濃 1 丁目町内会	・ ・ P 37～38	81	ゆうまい町内会	・ ・ P 79
37	信濃 2 丁目町内会	・ ・ P 38	82	みどり団地 1 号棟自治会	・ ・ P 79～80
38	信濃 3 丁目町内会	・ ・ P 38～40	83	北栄団地 3 号棟自治会	・ ・ P 80
39	信濃 4 丁目町内会	・ ・ P 40～42			
40	富士町内会	・ ・ P 42～43			
41	長都駅前町内会	・ ・ P 43～44			
42	静和町内会	・ ・ P 44～45			
43	おさつ団地町内会	・ ・ P 45～46			
44	あずさ町内会	・ ・ P 46～47			
45	富丘 1 丁目南町内会	・ ・ P 47			

資 料

千歳市内ふれあいサロンマップ ・ ・ P 82
 小地域ネットワーク活動推進事業（小地域
 たすけあい活動）実施要項 ・ ・ P 83～85

本町自治会

福祉委員人数	6人	世帯数	115
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 2回
- 対象者 自治会長・福祉委員
民生委員児童委員、防災委員
(対象者数 14人)
- 目的 福祉委員活動における委員間の
情報交換・共有・資質の向上
- 実施事業

- ・R1年10月18日 第1回福祉委員会

自治会内高齢者の名簿及び要支援世帯の把握と情報交換。R1年度除雪支援世帯の確認、独居高齢者へのお餅配り(12/14)の確認。南区地域包括支援センター勉強会(7/11)、参加委員から報告を受け研修をした。会長から自主防災会の事業報告を受け、高齢者世帯の避難等について課題共有した。防火委員から参加研修会の報告を受け、防火・防災に対する意識向上を図った。

- ・R2年3月18日 第2回福祉委員会

任期満了福祉委員の後任については、令和2年度全員更新。高齢者名簿及び避難行動要支援者担当表の確認。

- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター
その他(除雪支援員、防火委員)

- 事業成果

福祉委員会の定期開催により、要支援世帯に対する見守り、声かけ、支援がスムーズにできた。

福祉活動、防災活動に対する関心が高まり、福祉委員の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、障がい者、避難行動要支援者(対象者 54名)
- 目的 要支援世帯の状況把握

- 実施事業

- ・高齢者等名簿の作成(更新)

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、高齢者等名簿を作成(更新)し、福祉委員ごとに担当を決め、必要に応じて見守りや声かけを行いました。

- ・避難行動要支援者名簿の扱い

市からの情報提供の名簿(極秘扱い)に基づき、福祉委員ごとに担当を決めた。

- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

- 事業成果

要支援世帯等の状況把握により、日常の見守りや声掛けが円滑になったとともに、災害時等の備えにもつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 町内会員・高齢者・子ども
- 目的 高齢者と地域のつながり作り
- 実施事業

- ・ふれあい盆踊り大会

R1年8月9日(金)10日(土)町内会館及び会館横の空き地。2日間で75人参加。子ども達、高齢者を含む町内会員の参加で盆踊り大会を行う。女性部自慢の手料理に舌鼓、子ども達も夏休みに練習した太鼓を元気に叩き、おじいちゃん、おばあちゃんも孫達と踊り、夏の夜の楽しいひと時を過ごしました。

- ・ふれあい餅つき大会

R1年12月14日(土)町内会館(45人参加)高齢者、子どもたちを招き餅つき大会を行う。お雑煮をはじめ、餅料理に満腹。楽しい交流ができました。

- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

- 事業成果

参加者の交流により繋がりもでき、情報も得ることができ、安否確認もできました。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 一人暮らし高齢者・高齢者等世帯(対象者数 49 人)

- 目的 見守り・声かけ活動で安否確認

●実施事業

- ・見守り、声かけ活動

一人暮らし高齢者、支援を必要とする高齢者世帯等に担当福祉委員が声かけ訪問を行い、安否確認をしました。

- ・お餅等のお届け活動

ふれあい餅つき大会に併せ、千歳小学校仲良し会の役員等の協力を得て、一人暮らし高齢者世帯 6 世帯につきたてのお餅とお土産を届けた。この活動は 15 年間継続している。

- ・敬老記念品の配付

敬老の日に自治会長、副会長、福祉部役員で 75 歳以上の高齢者のいる会員宅を訪問し、敬老祝い品をお届けし、併せて安否確認や生活状況の把握を行った。(対象：34 世帯 48 人)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・その他(千歳小学校仲良し会)

●事業成果

一時ではあるが、一人暮らし高齢者の方と子どもたちの交流ができました。子どもの訪問には、高齢者の笑顔が違いました。

本町南自治会

福祉委員人数	7 人	世帯数	370
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 5 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 35 人)
- 目的 福祉委員活動における役員間の
情報交換・共有、資質の向上

●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の協議・見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行いました。

- ・出前講座

地域包括支援センターによる概要と役割について。

- ・ケア会議

成年後見制度について

あなたならどうする胆振東部地震のセンター職員の体験談。いずれも高齢者が身近な問題でもあり参考になりました。

- ・研修

防災学習交流センターそなえーる

地震体験や煙幕による脱出、胆振東部地震等をスライドで分かりやすく解説をしていただき、参加者も勉強になりました。

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、福祉活動に対する関心が高まり一人暮らしの高齢者の行事参加率が一段と上昇しました。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 5 回

- 対象者 高齢者、子ども、会員
(対象者 35 人)

- 目的 高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり

●実施事業

- ・茶話会、食事会

出前講座後、防災学習研修後の食事会

茶話会は極力集会所を利用したことにより、移動手段が容易になり参加者も増えました。

- ・町内会ふれあい夏祭り・秋祭り(年 2 回)

夏～バーベキュー、花火

秋～バーベキュー

高齢者と子ども、会員との交流会を実施。

- ・女性部日帰り研修

年一度施設見学をし、見分を広げる。

●事業成果

心配事の把握につながった。さらに高齢者の孤立防止になり、安否確認もできました。

3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者(対象者数 35 人)

●目的 地域の支え合いと孤立防止

●実施事業

- ・敬老の日お祝い品の配布

70 歳以上の対象世帯に対し福祉委員と民生委員により祝い品を届け、併せて安否確認や生活状況の把握に努めた。

- ・除雪支援活動(12/1～3/31)

支援協力者(ボランティア)3 名を登録でき、要支援世帯ごとに実施した。

- ・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者に対して、日常的な見守りや定期的な声かけを行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

●事業成果

安心して生活できる環境づくりに役立つことができた。高齢者への除雪支援活動と安否確認及び孤立防止につながり、大変感謝された。

朝日町西自治会

福祉委員人数	9 人	世帯数	200
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 年 3 回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員(対象者数 20 人)

●目的 福祉活動における役員間の情報交換

●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の協議、検討及び見守り世帯等に関する情報交換と課題の共有。3 ヶ月に 1 回実施

- ・福祉懇談会

町内会役員全員と懇談し、見守り、支援についての意見交換

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 年 22 回

●対象者 高齢者・子ども・会員
(対象者数 120 人)

●実施事業

- ・ふれあいサロン

おしゃべり、レクリエーション、健康体操、カラオケ等 回数 18 回(毎月第 1 木曜日)

- ・朝日町西町内会夏祭り

子どもたちの夏休みに合わせて高齢者と子ども、会員との交流会を実施

- ・ふれあい日帰り旅行

果物狩り、温泉施設の利用 回数年 1 回

- ・誕生会

3 ヶ月に 1 回開催して高齢者同士の交流と親睦を図る。

- ・女性部日帰り研修

年に一度、施設見学をし見聞を広げる。

●事業成果

一人暮らしの高齢者の安否確認、心配ごとの把握につながりました。

高齢者の閉じこもり防止につながりました。

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになりました。

朝日町東自治会

福祉委員人数	3人	世帯数	59
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 9回
- 対象者 町内会役員・町内会会員・福祉委員（対象者 60人）
- 目的 町内会員の情報交換、情報の共有
研修会・講演のお知らせ

●実施事業

- ・福祉委員会

「会館開放サロン」終了後に見守り世帯の情報交換、情報の共有のための話し合い。

悩み事、困りごとの相談。今後の開放サロン実施内容の話し合い、反省

- ・「会館開放サロン」実施内容等についての回覧を作成し配布

閉じこもり、健康づくりに役立ったと思います。

- ・千歳市各団体における研修会等を会員、役員に知らせる。

講演に出席した中で「認知症になった波平さん」を町内会の副会長さんと出席させていただきました。とても楽しく聞かせていただきました。

- ・研修会

6回出席させていただきました。

●事業成果

町内会役員、会員連携してサロンを盛り上げていただきました。ご近所に知り合いが増えました。研修会、講演に町内役員と一緒に出席させていただきました。役員同士の和につながりました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 75歳以上高齢者・障がい者（対象者 32人）
- 目的 対象者会員の状況を調べる
- 実施事業

- ・令和元年対象者の名簿を作成し訪問・声かけ・困りごとなど現状についてお話ししました。
- ・避難行動要支援名簿の更新をしました。
- ・救急カードの記載について一部の会員に確認しました。

●事業成果

対象者名簿作成により高齢者の方、ご近所の人にも声かけが出来ました。対象者の健康状況等を知ることが出来ました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 8回
- 対象者 町内会会員
- 目的 会員同士の親睦、閉じこもり防止、健康づくり

●実施事業

- ・会館開放サロン

内容～食事会・トンボのブローチ作り、アレンジ花の作製、町内会館の清掃後には食事をしました。

- ・お楽しみ交流会

12月15日 11:30～14:30

餅つきをしました。大人、子どもが一緒にあん餅、丸餅を作って皆さんと一緒に雑煮を食べました。

- ・ラジオ体操

7月30日から8月10日まで12日間実施しました。毎日10人前後集まりました。「おはようございます」とお互いに声をかけ合い笑顔で体操して終わりました。

●事業成果

一年でお楽しみ交流会が一番多くの会員が参加して下さいます。食事会は参加者が多く交流が出来て良かったと思います。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 75歳以上高齢者・障がい者（対象者 34人）
- 目的 地域の支え合い、安否確認、困りごと相談

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問
日常的な見守り、定期的な声かけ訪問を行い現在の状況について確認しました。
- ・敬老の日に該当高齢者に商品券を進呈しました。
(34名)
- ・5月5日子どもの日におやつを配りました。
(5名)

●事業成果

高齢者の多い町内会で、隣近所で声かけ安否確認に協力していただいています。何かあるとお知らせに来てくださいます。

若草町内会

福祉委員人数	27人	世帯数	823
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 16回
- 対象者 福祉活動：高齢者世帯、一人暮らし世帯など（75歳以上274名）
新救急カード：全世帯
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有・活動の向上
新救急カードの配布による世帯人数の把握をする。

●実施事業

- ・福祉委員会（5回）福祉部会（11回）
町内を5ブロックに分け、民生委員児童委員を中心に“知る”“知らせる”等の活動を定期的に実施し、その結果を委員会で情報共有を図る。
- ・研修会の参加
ちとせ市民ふくし講座、福祉部長等研修会、向陽台福祉部長等と包括との意見交換会、ちとせ地域福祉フォーラム。
- ・新救急カードの一斉配布
全世帯を対象に新救急カードを配布。
- ・地域包括支援センターからの高齢化に伴う様々な課題について。

●事業成果

民生委員児童委員と福祉委員との連携が強化され、研修会では新情報を収集し、新救急カードにより住民との対話が強化された。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 町内会住民
- 目的 世代間を通じた交流や75歳以上の高齢者との親睦を図る

●実施事業

- ・敬老会（75歳以上高齢者274名）
参加者全員で合唱や近況情報を語らい高齢者同士や役員との親睦を図った。
- ・餅つき大会（参加者142名のうち子ども55名）
45kgのもち米を参加者でつき、納豆餅、大根おろし餅など料理し参加者との親睦を図った。
一人暮らし高齢者やグループホームに赤飯を配布。
- ・ひな人形の展示
新型コロナウイルス感染の影響を考慮し中止とした。

●事業成果

町内に住む子どもやお年寄りとの交流や近隣同士のつながりが深まった。また、高齢者の閉じこもり防止につながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 冬期間随時
- 対象者 除雪・避難困難者
- 目的 近隣同士のつながりや孤立防止を図るための支え合いの地域づくりを目指す

●実施事業

- ・除雪支援
除雪困難世帯を対象に町内会員による除雪支援を実施した。
対象者世帯23世帯、除雪ボランティア27人、
- ・災害時要援護者避難支援活動（対象者23名）
支援活動の実施方法など検討中。

●事業成果

近隣同士のつながりの一助や高齢者の閉じこもり防止につながった。

里美町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	324
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 6回

●対象者 町内会副会長・民生委員児童委員・福祉委員（対象者数14人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換の共有・資質向上

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯に関する情報交換、課題の共有を行った。

・「福祉だより」の発行（年2回発行）

5月：福祉委員・民生委員児童委員紹介・福祉関連の情報伝達など

10月：在宅医療関係

・福祉研修会への参加

社協等の研修会に参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者70歳以上
（対象者数181人）

●目的 世帯の状況把握

●実施事業

・高齢者名簿作成・更新（65歳以上）

今後の高齢者を把握するため65歳以上の方をも把握し、名簿を同時に作成している。

また、必要に応じて見守り・声かけを行った。

●事業成果

高齢者と委員との交流ができた。また、災害時等の備えにもつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 お祝い1回

ふれあいサロン2回

●対象者 古希70歳以上の方27名、75歳以上77世帯、ふれあいサロン47名

●目的 健康と長寿のお祝い及び地域のつながり作り。

●実施事業

・健康と長寿のお祝いし古希（70歳）と75歳以上の世帯にお祝いをお届けし、地域のつながりづくりと交流等を図った。

・ふれあいサロンについては参加者が（年齢制限なし）体操、脳トレ、食事を通じて地域のつながりと交流を図った。（6月、10月）

●事業成果

・古希、75歳以上の世帯にお祝いをお届けについては喜びの声と笑顔、また、現状把握等を再確認することができた。

・ふれあいサロンについては参加者の笑顔及び食事会で楽しい交流ができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者（対象者181人）

●目的 地域の支え合い・連帯意識の醸成を図り、孤立防止につなげる

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

・ひとり暮らし高齢者へのお赤飯の配付（12/1）

町内会の餅つきに合わせ、お赤飯を配付した。

・救急カードの取り組みを福祉だよりに掲載

・除雪支援活動（12/1～3/31）

民生委員児童委員の調査と同時に町内会支援協力者（ボランティア）を回覧にて募集し、11月に会議を開き要支援世帯ごとに近隣で担当体制を組み支援を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

安心して生活できる環境づくりに少しでも役に立つことができた。

白樺町内会

福祉委員人数	20人	世帯数	591
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 月1回

●対象者 町内会長、町内会役員・福祉委員・民生委員児童委員・地域包括支援センター・社会福祉協議会

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有・資質向上

●実施事業

・福祉委員会

月1回例会を行い情報の共有に努めた。毎回地域包括支援センター長にも参加をいただき情報交換が出来るよう支援者等の現状把握が容易にできました。

・福祉委員研修会

向陽台町内会主催の福祉をテーマにした会合等に参加し、各自町内会の実情を知ることができ、また話し合いの機会があり参考になりました。社協、向陽台あったかネットの皆さんにも支援をいただき効果的な研修会でした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター・社会福祉協議会

●事業成果

地域包括支援センター、民生委員児童委員、社協（生活支援コーディネーター）にも参加いただき現状等のお話ができ、参加者間の意見交換ができ有意義な会ができた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者（対象者150名）

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・要支援世帯台帳の更新

・福祉マップの更新

必要な時にすぐ使用できるように整備をした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター

●事業成果

いつでも内容がわかるよう整備を重ねました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者・子ども

●目的 高齢者の孤立の防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

●実施事業

・明日への幸せ「サロン白樺」は、多くの方の支援を受け予定どおり実施でき、対象者も満足のいく効果があったものと思います。

・いきいき百歳体操は指導者の皆さんの積極的な行動により各人の健康維持に大きな成果を収めることができた。

・白樺子ども会「茶いる童」は結成し日も浅いが、若者の集いとして足掛かりができたと思います。今後は、大きな組織となるよう期待できる。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

それぞれの分野で活動され、その成果は大きいものがありました。今後もより充実した内容になるよう継承して町内会の発展に導いていきたい。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者（対象者150名）

●目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成

を図り孤立防止につなげる

●実施事業

- ・対象者への見守り、声かけ等訪問を行い安心安全に務めた。
- ・一人暮らし高齢者及び障がい者に対してきめ細かな支援を行うことが出来ました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

対象者の支援を行うことで、新しい発見が出来たりするので、町内会としての充実に貢献していただきました。

柏陽町内会

福祉委員人数	15人	世帯数	440
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回（事務局会議含）
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
町内会長（対象者数19人）
- 目的 福祉委員活動における委員間の
情報交換・共有・資質向上
- 実施事業
 - ・福祉委員会及び事務局会議
情報交換、事業計画及び実施要領確認等の為
2か月ごとに実施
 - ・「福祉だより」の発行
福祉委員、民生委員児童委員の周知とサロン
活動等の案内
 - ・委員研修
社会福祉法人ノテ福祉会「アンデルセン福祉
村」見学
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果

委員同士の交流、民生委員児童委員、町内会との連携強化につながり活動を円滑に進めることができる。施設見学は福祉活動に対する関心が深

まり資質向上につながる。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 1回
- 対象者 75歳以上高齢者世帯及び独居世帯（対象世帯数92世帯）
- 目的 対象者世帯の実態把握
- 実施事業
 - ・高齢者名簿作成
毎年名簿作成（更新）するため、高齢者世帯、
独居世帯の把握、確認を行う。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・町内会
- 事業成果
把握・確認等を通じ町内会、民生委員の方と共に行動しているので新たな支援が必要な世帯等の情報を共有でき、見守り・声掛けがしやすい。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回
- 対象者 町内会全世帯（対象者数440世帯）
- 目的 高齢者・独居高齢者の孤立防止、
親睦・交流
- 実施事業
 - ・サロン活動
地域内の病院の先生による「健康講話」、
高齢者のための交通安全教室や小物づくり、ク
リスマス会等
 - ・日帰りバス旅行
福祉バスを利用し、果物狩りや支笏湖ビジタ
ーセンター見学
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・町内会長
- 事業成果
サロン活動も定着し、参加者同士の交流により
近隣のつながりができるようになってきたと感
じる。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 75 歳以上高齢者世帯・独居世帯（対象者数 92 人）
- 目的 生活状況等の現状把握

●実施事業

- ・対象者世帯への訪問活動
年末に福祉委員が各自担当班の対象者世帯へ粗品を持って訪問
- ・見守り、声かけ活動
日常的に見守り、声かけ等を意識している。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会

●事業成果

各自担当班は意識して見守りをしているので、町内会、民生委員とすぐにつながる体制になっている。高齢者宅訪問活動は安否確認、健康状態の確認等もできるので継続していきたい。

福住町内会

福祉委員人数	9 人	世帯数	285
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 3 回
- 対象者 町内会役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者 15 人）
- 目的 福祉委員活動及び委員間における情報交換、共有、委員の資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会（3 回）
福祉委員、民生委員との情報交換。要支援対象世帯、一人世帯の把握及び担当割当並びに意見交換。地域包括支援センター及び社会福祉協議会参加者との情報交換
- ・「福祉だより」の発行（年 2 回）
町内会福祉委員、民生委員児童委員の紹介

福祉関連の情報伝達

- ・福祉研修会への参加
社会福祉協議会及び市主催の研修、講義に参加した。

●事業成果

福祉委員及び民生委員児童委員との連携強化が図れた。社会福祉協議会、地域包括支援センター、市福祉担当者との意見交換及び連携を図ることができた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者・一人世帯（対象世帯数 71 世帯）
- 目的 要支援世帯、一人世帯の状況を把握し高齢者の孤立及び引きこもりの防止を図る。

●実施事業

- ・高齢者世帯、要支援対象世帯、一人世帯の状況を把握しマップの更新や日常的な見守り及び声かけを積極的に行った。
- ・80 歳以上のお祝い対象者の把握に努めた。

●事業成果

高齢者世帯、要支援対象世帯、一人世帯を把握しマップの更新や担当割当て、各委員間の情報の共有が図れた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 年間を通して実施
- 対象者 高齢者・町内会員・障がい者児童（対象者 町内会全世帯）
- 目的 地域住民同士の交流活動、高齢者の孤立防止と仲間づくり

●実施事業

- ・介護予防サロン
いきいき百歳体操、脳トレ運動、各種ゲーム、ノルディックウォーキング及び向陽台ファミリークリニックの先生による講話、竹細工づくり。
いきいき百歳体操は毎週金曜日（月 3～4 回）年間 40 回 457 人参加

ノルディックウォーキングは毎週火曜日

(月2～3回) 年間18回111人参加

・ふれあい交流会

町内餅つき交流会を実施し町内会員、高齢者及び子どもたちとのふれあいやゲームを実施し、参加者同士の親睦を図った。回数1回(1月29日48名参加)

・天体観測交流会

地域住民及び子どもたちが参加をし、星座の名称や月の観測を実施し天体の知識を深めることができた。(10月6日28名参加)

・夏休みラジオ体操(7月26日～8月3日)

公園を利用し大人と子どものふれあい、ラジオ体操による体力作り。

●事業成果

高齢者の健康維持や体力向上が図れた。また餅つき、天体観測、ラジオ体操等の実施により会員と高齢者、子どもたちとのふれあい世代間交流を図ることができ、住民の絆を深めることができた。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 80歳以上の高齢者世帯
(対象者数 56人)

●目的 高齢者の長寿のお祝いと生活状況の把握

●実施事業

・敬老の日 お祝い品の配付

町内80歳以上の対象世帯に対し福祉委員及び民生委員により町内会から長寿のお祝い品をお届けし併せて安否確認や生活状況の把握を行った。

(対象:47世帯56人)

・近隣住民支援によるボランティア除雪の実施

高齢者、障がい者、一人暮らし世帯に対し住民支援によるボランティア除雪の実施や併せて安否確認、生活状況の把握に努めた。(ボランティア支援人数12名 対象世帯11世帯 延べ支援回数:225回 延べ支援人数:231人)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・福祉委員・社会福祉協議会

●事業成果

長寿のお祝い品を手渡しすることにより、本人の健康状態や生活状況を確認できた。また近隣住民の協力により、除雪支援活動や安否確認と孤立防止を図ることができた。要除雪支援世帯から大変感謝された。

文京町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	573
--------	----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 5回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員
(対象者9人)

●目的 福祉委員活動での情報・意見交換

●実施事業

・福祉委員会(2回)

福祉活動の進め方と各事業の具体的な計画について話し合った。また高齢者の見守りを強化するためのマニュアルを作った。

・各種研修会(3回)

●事業成果

福祉活動に対する情報の共有ができた。

2 調査活動(実態把握)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 町内会員・高齢者

●目的 要支援世帯の把握

●実施事業

・福祉マップの作成

町内会行事や救急カードの説明等で情報を集めた。

●事業成果

家族構成の変更や転居者に福祉等の町内会活動の説明ができ、状況把握が出来た。

3 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 44回

●対象者 高齢者・町内会員

- **目 的** 町内会員の交流と仲間づくり
- **実施事業**
 - ・ 介護予防サロン(ぶんぶん健康サロン) (37 回)
いきいき百歳体操など健康運動を行い、お楽しみ食事会で親睦を深めた。
 - ・ 交流カフェ 5 回
高齢者から子どもまで自由に参加できる仲間づくりやおしゃべりの場として交流を図った。
 - ・ 町内会主催行事の支援 2 回
夏まつり、年末餅つき
- **事業成果**
介護予防サロンの活動は定着しているが、交流カフェの内容等を工夫して参加したくなるような交流の場としたい。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- **実施回数** 年間を通じて実施
- **対 象 者** 高齢者
- **目 的** 地域の支え合いを通して相互理解を深め、孤立防止につなげる。
- **実施事業**
 - ・ 見守り、声かけ訪問活動
安否確認と世帯状況の把握に努めた。
- **事業成果**
福祉委員だけの活動では限界があるので、町内会の有志にサポート役として、気になる事案や意見等の協力をお願いして、見守り活動を強化するためのマニュアルを作成した。

錦町 3 丁目町内会

福祉委員人数	1 人	世帯数	12
--------	-----	-----	----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- **実施回数** 4 回
- **対 象 者** 町内会長・役員・福祉委員
(対象者 4 人)
- **目 的** 福祉委員と役員との合同会議

- **実施事業**
 - ・ 町内会員と福祉委員、民生委員との情報交換
 - ・ 各部の活動状況の意見交換及び問題点の意見交換
- **連携・協力機関及び団体**
民生委員児童委員

2 調査活動(実態把握)

- **実施回数** 年間を通じて実施
- **対 象 者** 高齢者(対象者数: 5 人)
- **目 的** 要支援世帯の状況把握
- **実施事業**
 - ・ 日常的な支援が必要な高齢者世帯の状況を把握する。また、回覧板等の配布の際に対象者の健康状態や近況を伺い確認した。町内会行事等の案内をし、必ず声かけをする。
- **連携・協力機関及び団体**
民生委員児童委員

3 交流活動(ふれあい・語らい)

- **実施回数** 3 回
- **対 象 者** 町内会全員、高齢者
(対象者数 14 人)
- **目 的** 町内会員の親睦を図る。
- **実施事業**
 - 1 月: 新年交礼会及び総会を実施した。
 - 5 月: 観桜会を町内会館で実施した。
 - 10 月: 観楓会を町内会館で実施した。
- **連携・協力機関及び団体**
老人クラブ・社会福祉協議会

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- **実施回数** 11 月～3 月
- **対 象 者** 高齢者世帯
- **目 的** 冬期間の除雪及び排雪の支援
- **実施事業**
 - 高齢者世帯の除雪、排雪の支援を行い、除排雪時に健康状態や近況を確認した。
- **連携・協力機関及び団体**
民生委員児童委員

●事業成果

令和1年度は降雪が少なく、支援者も少ないことから助かった。

清水町3丁目町内会

福祉委員人数	1人	世帯数	40
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1回

●対象者 町内在住者（対象者数40人）

●目的 町内清掃後の食事・懇談、地域のつながりづくり

●実施事業

歩道、空き地ほか町内一円の清掃後に食事、懇談を実施した。

●事業成果

参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりにつながった。

清水町5丁目町内会

福祉委員人数	1人	世帯数	33
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 3回

●対象者 町内会役員（対象者数11人）

●目的 町内の福祉活動情報の共有化

●実施事業

町内役員会において、高齢者世帯等の状況把握をはじめ、福祉活動について情報交換等を行い、認識を共有する。

●事業成果

町内会役員が情報を共有化することにより、個人情報に配慮しながら、高齢者等の支援が図られた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 町内会全員（対象者数32世帯）

●目的 会員相互の親睦と交流

●実施事業

・食事会

ホテルのバイキングに行き、皆で親睦と交流を図りながら楽しい時間を過ごした。

・忘年会

一年の締めくくりに忘年会を開催し、ゲーム等を行い、楽しい時間を過ごし会員相互の親睦と交流を図った。

●事業成果

町内会全体での交流活動は、地域の連携と絆が一層強くなる良い機会となった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年実施

●対象者 ひとり暮らし高齢者
（対象者数3人）

●目的 ひとり暮らし高齢者等の安否確認とコミュニケーションを図る

●実施事業

・訪問活動

一人暮らし高齢者を訪問し、面談のうえ安否確認と状況把握を行った。

・声かけ、見守り活動

日頃から近くの役員による声かけ、見守りを実施した。

●事業成果

面談をすることで健康状態や生活状況を把握することができ、コミュニケーションが図られた。

栄町西区町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	194
--------	----	-----	-----

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 70歳以上（対象119人）

●目的 町内会運営のための「明るく」「楽しい」「ふれあいのある町内」を目指す

●実施事業

・敬老会

10月13日に70歳以上の高齢者を招待し(参加者54名)参加者の語らいと余興とゲームを楽しんだ。

実施のために、対象者宅へ訪問し生活状況の確認と参加有無の確認及び会場(町内会館)までの来場方法の確認を行った。

・ふれあい昼食会

2月16日に75歳以上の高齢者を招待した(参加者34名)。

実施のために、対象者に内容や時期の要望を確認し、福祉委員との調整を図った。

●事業成果

敬老会では、例年9月中に開催していたが今年は町内会行事との関連で10月に実施し目的を達成した。参加出来なかった方々には祝品を贈呈し近況を再確認した。

ふれあい昼食会では、例年12月中にクリスマス会を兼ねて実施したが今回はひなまつりを兼ね実施。例年20～25名の参加であったが34名の出席を得て近況と来年の取組みについて希望確認



栄町東町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	170
--------	----	-----	-----

1 調査活動(実態把握)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 70歳以上(対象者50人)

●目的 要支援世帯等の状況把握

●実施事業

・70歳以上を対象に、家庭訪問し状況を把握

・敬老日に対象者宅の全件を訪問し、面接を実施
本人が入院又は施設等に入所され、不在の場合には、家族の方に状況をお聞きすることで計画通り実施した。

●事業成果

良好であった。全員の方に面接する様に時間帯及び事前に調査した事が良かった。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 2回

●対象者 高齢者・子ども(対象者数20人)

●目的 会員相互の親睦、地域のつながり

●実施事業

・茶話会

2時間を目処に実施し、参加者の近況報告や健康に関する情報等学ぶ場を設けた。

・会館清掃日に茶話会を実施

千歳市の歴史等紙芝居等を行った。

・子どもとの交流

夏休みにラジオ体操を実施(7日間)

祭礼時に食事会を実施し、料理も子どもたちに行ってもらった。

●事業成果

会員同士の親睦や役員相互の意思疎通が図られた。

春日町2丁目町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	180
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 7回
- 対象者 町内会員・役員・福祉委員
民生委員児童委員（対象者24人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の
情報共有及び知識・能力向上

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議、検討及び見守りや声かけを実施した。また避難行動支援者に対する相互の情報交換、課題の共有を行った。

・福祉研修会・講習会等への参加

1. 令和元年6月 令和元年度ちとせ市民ふくし講座（2名参加）
2. 令和元年年7月 町内会福祉部長等研修会（2名参加）
3. 令和元年9月 ちとせ地域福祉フォーラム（1名参加）

・全期間

高齢独居者等の見守りや声かけ活動を行った。

避難行動支援者登録の推進を行った。

●事業成果

福祉関係者の連携を強化し、地域福祉活動を円滑に進めることができた。

各種研修会、講習会等に参加することにより福祉関係者の識能が向上し、福祉活動に対する関心を高めることができた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢独居者世帯及び障がい者
（対象者数54人）
- 目的 地域の互助の支え合いによる高齢者の孤立防止、要支援者世帯の状況把握

●実施事業

・見守り・声かけ訪問活動

要支援者世帯等に対して、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安全確認と生活状況の把握に努めた。

・高齢者への赤飯等の配付（令和元年10月）

餅つき大会に参加できなかった高齢者に対し赤飯をお届けし、併せて健康状況等の現状把握を行った。

・高齢独居者への年末贈答品の贈呈 （令和元年12月：9名）

見守り、声かけ担当者が年末贈答品（ギフト券）を高齢独居者宅に持参し、その機会に状況把握の確認を行いました。

・高齢者独居者宅の除雪支援

除雪支援の担当者を配置して、除雪を行うとともに現況把握も行いました。

●事業成果

見守り・声かけ担当者により、地域の絆に基づく互助態勢が強化され、高齢独居者の孤立防止等を図ることができました。

見守り・声かけ担当者が各種の機会を有効活用して、現況等の把握に努めることにより、高齢独居者・要支援者世帯等が安心して生活できる環境を向上させることができました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 4回

●対象者 町内会員（対象者数163人）

●目的 町内会員の親睦・交流の機会を活用した地域のつながりや高齢者の孤立防止の促進

●実施事業

・福祉バス旅行（令和元年7月 参加者24人、子ども3人参加）

札幌円山動物園、北広島アウトレットを巡り高齢者をはじめ町内会員同士の交流を深めることができ、高齢者が屋外で活動する良い機会となった。

・子ども神輿（令和元年8月 子ども16名参加）

巡行では、高齢者も屋外に見物に出て、子ども

もたちとの交流を深めることができた。

- ・餅つき大会（令和元年12月 大人41名 子ども22名参加）

子どもをはじめ、三世代が参加をして餅つきを行いました。また、青少年部がチョコバナナ、キャラメルポップコーン、綿あめ等を作り好評でした。

- ・新年交礼会（令和2年1月、参加者23人 子ども5名参加）

千歳市内の宴会場で新年を祝い、町内会員の親睦と世代間交流を深めることができました。

●事業成果

世代間の交流により、町内会員の結束が強くなり、福祉活動への理解が高まりました。

高齢者等の状況把握もでき、福祉関係者の情報交換の機会にもなりました。

どの世代の参加者もいきいきと活動し、特に高齢者等には自宅外で活動する機会を提供することができました。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対象者 高齢独居世帯（対象者数9人）

- 目的 地域の絆に基づき互助態勢を強化し独居防止等を図る

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

高齢独居者等に対し、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と生活状況の把握に努めました。また、要支援者予備軍70歳以上の高齢者に関する現状把握を行い、基礎資料としました。

- ・緊急、不測事態に備えた情報収集

高齢独居者の緊急不測事態に備え、的確に対応ができるよう、必要と思われる各種情報（固定電話番号、携帯電話番号、緊急連絡先等）を日頃から収集した。

●事業成果

見守り・声かけ担当者の努力により、地域の絆に基づく互助態勢が強化され、高齢者等の孤立防止を図ることができました。

見守り、声かけ担当者が各種の機会を有効に活用して情報把握を努めることにより、高齢者等が安心して生活できる環境を向上させることができました。

春日町3丁目町内会

福祉委員人数

3人

世帯数

95

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 年6回

- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数12人)

- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有・資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会

町内会の役員会に合わせて、福祉活動の協議検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。2ヶ月に一度実施。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員、民生委員児童委員及び老人クラブ役員との連帯強化につながり、地域福祉活動が円滑に遂行できた。

福祉活動に関する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 2回

- 対象者 高齢者・子ども・その他
(対象者数町内会員約250人)

- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

- ・町内会声かけ運動

町内の高齢者世帯を対象に総務部、福祉委員、民生委員が2名1組で訪問し、安否確認を行う

と共に、町内会活動の紹介チラシを手渡した。

回数～2回（8/12、2/16）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配事の把握につながりました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 17回

●対象者 高齢者・子ども・その他

（対象者：町内会員約250名）

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン

町内集会室でお菓子や果物を食べながらおしゃべりをして会員の交流を図った。

回数～12回（毎月第2木曜日13時～15時実施、各回10名～15名参加、主として女性）

・夕方サロン

町内集会室で夕方にお酒を楽しみながらおしゃべりをして会員の交流を図った。

回数～4回（5月、8月、12月、2月18時～20時、各回12名程度参加、会費制、主として男性）

・ふれあいパークゴルフ大会

9月29日に指宿公園パークゴルフ場にて22名の参加で実施。

・敬老の日行事（75歳以上の方29名に記念品を贈呈）

町内75歳以上の方33名（男性11名女性22名）に記念品を贈呈

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながりました。

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになりました。

高齢者の閉じこもり防止につながりました。

大和2丁目町内会

福祉委員人数

3人

世帯数

45

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 高齢者等（対象者数28人）

●目的 高齢者・ひとり暮らし高齢者の孤立防止及び健康状態等の把握

●実施事業

・町内レクリエーション事業

食事会：年1回実施（令和元年11月17日実施）

・新春の集い事業は、新型コロナウイルス感染防止のため中止

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

会員相互の親睦を深めるために、天候不順等の関係で実施できなかった親睦会を実施し最近の情報を交換することができ今後の高齢者の福祉対策の方向性の一助となった。

2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 2回

●対象者 高齢者

●目的 高齢者の長寿の祝いと健康状態の確認

●実施事業

・敬老会

75歳以上の高齢者（22名）へ記念品を贈呈。
（令和元年9月30日）

・おせち配付事業

一人暮らし高齢者（6名）へ商品券を贈呈。
（令和元年12月28日）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ。

●事業成果

対象者宅を訪問し、健康状態等を再確認することができた。

桂木 1・2 丁目町内会

福祉委員人数	6 人	世帯数	147
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 7 回
- 対象者 町内会役員・福祉委員・民生委員
児童委員（対象者数 20 人）
- 目的 福祉活動における役員間の情報
交換・共有と資質向上を目指す
- 実施事業
 - ・福祉委員会の開催
福祉活動の協議・検討および見守り世帯等に
関する情報交換と課題の共有を行う。
 - ・福祉関連研修会への参加
地域福祉に関する各種研修会へ積極的に参
加をし、委員会を通じて共有する。
 - ・救急カード事業の推進
回覧、訪問で救急カードの普及と推進を行う。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所
- 事業成果
福祉委員同士のみならず町内会役員、民生委員
児童委員との連携が強化され、地域福祉活動が円
滑に且つ積極的に進められた。
福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員の資
質向上につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5 回
- 対象者 町内会員全員（対象者数 240 人）
- 目的 高齢者の孤立防止と世代間交流
で地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・いきいきサロンの開催（主に高齢者対象）
6 月 19 日 パン作り体験会（昼食に焼き立て
パンを食べる）
7 月 19 日 そば打ち体験（4 グループに分かれ
てそばを作り、作ったそばを昼食にいただく）
9 月 22 日 認知症予防の体操とゲーム

10 月 17 日 ちぎり絵講習会

- ・餅つきとお楽しみ交流会（12 月 14 日）

餅つき大会は町内会全体の行事として世代を
超えた交流会ができ、地域のつながりづくりにな
った。

●事業成果

高齢者の孤立防止につながった。

参加者同士の世代を超えた交流が深まり、近隣
のつながり作りになった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数 80 人）
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成
を図り孤立を防止する。
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ、定期的な訪問活動の実施
一人暮らし及び高齢者世帯に対して、日常的
な見守りや定期的な声かけ訪問を実施し、安否
確認と世帯の状況把握に努めた。
 - ・独居高齢者へ給食配布（3 人）
年末にお弁当とともにサロンで作成した干
支のちぎり絵をお届けし、併せて安否確認や生
活状況の把握に努めた。
- 事業成果
ご近所同士のつながりを強くし、一人暮らし高
齢者の安否確認と生活状況の把握につながった。

桂木 3・4 丁目町内会

福祉委員人数	4 人	世帯数	210
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生
委員児童委員（対象者数 18 人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の
情報交換・共有

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。隔月に実施

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動を円滑に進めることができた。

福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 7回

●対象者 高齢者・障がい者・子ども (対象者数 100 人)

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、 地域のつながりづくり

●実施事業

・歩こう、パークゴルフ大会（年3回）

指宿公園までゆっくり歩きパークゴルフを楽しんだ。

・お楽しみ交流会（年2回）

高齢者と子どもたちとの交流会を実施した。

夏～ゲーム&お食事会

冬～餅つき大会

・ふれあい日帰り旅行（年1回）

温泉施設の利用。

・出前講座の開催（年1回）

市の出前講座「カラーリング」を開催した。

●連携・協力機関及び団体

市役所

●事業成果

参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりになりました。

高齢者の閉じこもり防止につながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 9回

●対象者 高齢者・障がい者(対象者数53人)

●目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成 を図り、孤立防止につなげる

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動（年8回）

一人暮らし高齢者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

・「敬老の日」粗品配付

75 歳以上高齢者に永年の苦勞を謝し粗品を届け、併せて安否確認や生活状況の把握を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認、心配ごとの把握につながった。

地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

桂木5・6丁目町内会

福祉委員人数

4人

世帯数

133

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 15回

●対象者 町内会長・民生委員児童委員・役員・福祉委員(対象者数10人)

●目的 福祉委員活動の活動を町内会役員と共有・情報交換するため

●実施事業

・町内会役員会（12回）

福祉活動に関する情報交換、共有を行いました。

・民生委員児童委員との情報交換（1回）

福祉対象世帯の情報交換、共有を行いました。

・福祉会議（2回）

福祉活動の協議、検討及び見守り世帯に関する情報交換、課題の共有を行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員、町内会との連携が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者(対象者数 100 人)

●目的 実態把握

●実施事業

・福祉台帳の更新

高齢者世帯等の状況を把握するため台帳を年度初めに更新している。

●連携・協力機関及び団体

町内会長

●事業成果

福祉委員は台帳に基づいて活動している。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 17 回

●対象者 高齢者（対象者 100 人）

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域とのつながりづくり、介護予防、健康増進

●実施事業

・日帰り温泉（1 回）

支笏湖休暇村（14 名）

・お楽しみ会（1 回）

町内会館で 29 名集まり大道芸人ヨモさん(ボランティア)を招き、とても楽しい時間を過ごした。

・敬老会（1 回）

対象者全員に手配りで招待状を届け、欠席の方にも記念品を届けた。（34 名）

・ふれあい健康麻雀サロン（12 回）

頭や指を動かし、認知症防止によいと人気の健康麻雀サロン。女性が約半数参加。（142 名）

・体操サークル（毎週月曜日）

ラジオ体操、ストレッチの後はお茶を飲みながらおしゃべりをした。

・パークゴルフ大会（2 回）

1 回目 25 名参加 2 回目 14 名参加

●連携・協力機関及び団体

社会福祉協議会・町内会文化部・総務部・女性部

●事業成果

高齢者の健康状態、心配ごとなどを把握することができた。

参加者同士の交流の場となり、楽しく会話がはずみ、元気になることができた。

引きこもり防止につながった。女性部の協力で体操サークルを毎週開催できた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 3 回

●対象者 高齢者（対象者数 100 人）

●目的 地域の支え合い、孤立防止につなげる

●実施事業

・「福祉委員便り」の発行（3 回）

福祉イベント等の案内などを福祉対象者全員に配布した。その際に安否確認なども実施。

・生活支援

除雪など随時助け合う

●事業成果

福祉委員と福祉対象者が顔見知りになり信頼関係が生まれた。生活上の困りごとに対する相談や地域とのつながりなどにより、孤立防止につながった。

新星町内会

福祉委員人数

1 人

世帯数

65

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1 回

●対象者 町内会員(対象者 30 人)

- 目的 地域連帯意識の醸成を図り特に高齢者の交流を行う

●実施事業

- ・町内での主要行事は夏祭り、クリスマス会と敬老会となっています。夏祭りとクリスマス会は子ども世帯が中心で、比較的若い層の集まりとなることから、町内高齢者層を対象とした「新年会・敬老会」を実施します。

●事業成果

参加者から感謝の意が多く寄せられ毎年開催の希望が強い。



北斗南町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	155
--------	----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 5回
- 対象者 社会的弱者（高齢者・独居高齢者・病弱者）
- 目的 地域福祉活動の推進、福祉委員向上のための研修

●実施事業

1. 福祉委員会

町内における組織的福祉活動の意義と具体的な活動計画、担当区域別に事業対象者の状況把握及び民生委員との情報交換、福祉マップの活用。

2. 福祉委員の主な活動

救急カードの加入促進及び記載内容の更新、高齢者への声かけ・見守り活動の役割を果たす。ふれあいサロン活動を図り、多くの高齢者が参加して閉じこもりや孤独化をなくす。各種行事の支援（夏祭り、敬老会、もちつき大会）福祉研修会、北桜コミセン祭りの参加

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 80歳以上の高齢者及び町内会員
- 目的 「敬老の日」にちなんで、80歳以上の高齢者を招待し町内会員とともに長寿を祝う。

●実施事業

- ・80歳以上の高齢者を招待して長寿を祝い、祝い品（当年80歳になられた方）を贈呈し、町内会員とともに、益々の長寿を祈念し交流祝賀会を実施した。
- ・招待状は、福祉委員が各人に配布し出欠を伺う。
- ・三世代ラジオ体操を通じて、夏休み中の児童生徒の健全育成と家族、友人、地域の仲間との交流を図るため、青少年部が担当で実施した。
- ・夏祭りの行事を通して、会員相互、子ども相互、町内会全体の多世代間交流を図った。
- ・餅つき体験をし、文化の伝承を図るとともに多世代間の交流を図った。

北斗2丁目自治会

福祉委員人数	2人	世帯数	95
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 高齢者（単身）世帯（対象者60名）
- 目的 高齢者相互間の親睦・交流を図り、支え合い助け合いのこころを醸成する。千歳市の「出前講座」を受講して高齢者の交通事故防止及び認知症に関する情報・対応等について理解・認識を深める。

●実施事業

1. 「自治会福祉懇談会・ふれあいサロン活動・出前講座」

令和元年6月23日（日）11:00～13:30 参加者 37 名

（1）出前講座「高齢者の交通安全 自分だけは大丈夫と思っていませんか」

担当：千歳市市民環境部市民生活課 防犯・交通安全係、千歳警察署

内容：交通事故事例（市内）高齢者運転の特徴、シートベルト着用効果、交通事故防止対策

（2）会食・懇談

女性部の手作り料理による会食

会食後、会長の進行により自治会に対する要望（事業、道路等の補修、高齢世帯への対応等）及び質疑応答

2. 「自治会福祉懇談会・出前講座」

令和元年11月24日（日）10:30～13:30 参加者 47 名

（1）出前講座：「認知症で困った時に」みんなで支える千歳市の取り組み

担当：千歳市北区地域包括支援センター 認知症地域支援推進員 吉田 肇

（2）会食・懇談

会食：女性部の手作り料理による会食

懇談等：古希祝い金の贈呈（6名）古希代表挨拶、自由懇談。

●連携・協力機関及び団体

市役所・地域包括支援センター・社会福祉協議会

●事業成果

年度計画通り2回実施し、延べ参加人数 84 名。

高齢者を主対象に年2回出前講座を受講し、高齢者が日常生活における交通事故防止策（自己防衛）及び認知症に関する知識（症状）・相談・対応方法等について理解、再認識することができた。

また会食・懇談は女性部の手作り料理を味わいながら健康状態、家庭状況、趣味趣向等の日常会話に花が咲き、楽しく有意義な時間を過ごすことができた。

北斗3丁目自治会

福祉委員人数

6 人

世帯数

165

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 10 回

●対象者 福祉委員（対象者数 6 人）

●目的 情報の交換と確認

●実施事業

年間計画で町内会の定例役員会が 10 回（4 月と 12 月を除く）と決められているので、役員会終了後に福祉委員会を開催することで参加率を上げている。（大きく変化のある場合は別日程で全員参加としている）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

参加率は 83.3%です。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 1 回（8 月 3 日）

●対象者 後期高齢者世帯（対象者 74 軒）

●目的 後期高齢者の健康状態を確認

●実施事業

令和元年度内に 75 歳以上の家庭へ町内会開催の夏祭りへの招待券を配付し、会場となる町内会館前駐車場まで出向いてもらい歩行状態を見て健康状態を確認できた。

●事業成果

後期高齢者 74 世帯に招待券を配布。54 世帯の方が出向いてくれた。参加率 75%でした。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 1 回（12 月 31 日）

●対象者 寡婦で独居の後期高齢者（対象者数 14 人）

●目的 新年を迎える一助になれば

●実施事業

町内会女性部と共催で、寡婦の独居老人へおせ

ち料理を配付して、新年を迎える一助にしてくれた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会女性部・老人クラブ

●事業成果

対象人数が前年より2名減少した。心待ちにしている方がいる以上、今後も継続していきたい。

北斗西町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	130
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

●実施回数 年2回

●対象者 福祉委員長・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数11人)

●目的 小地域福祉ネットワーク活動計画の策定、情報・意見交換

●実施事業

1. 活動状況の報告と事後活動の打ち合わせ、一人暮らしの高齢者の現状確認。各種行事での成果報告および今後の行事参加者の向上について分析検討を実施し、ダイレクトメールを活用
2. 福祉委員間の頻繁な情報交換と対処要領について
3. 町内会年末の餅つき計画について検討
4. 一人暮らし世帯の除雪支援情報確認実施について
5. ふれあいサロンの計画と方向性の検討
6. 年末の独居老人に対する宅配支援計画と予算について

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地区担当福祉委員が戸別訪問等を実施し、近況を把握することができ効果があつた。また、町内行事と一体化し円滑かつ効果的に事業ができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 独居老人等、町内会全員
(対象者数34人)

●目的 各種行事を通じて交流を実施し親睦を深める。
高齢者の地域に対するニーズの把握及び交流ふれあいの強化

●実施事業

- ・夏祭り会場にて、高齢者と福祉委員が面談を行い心情の把握を行うとともに他の町内会員との交流を深めたのはよかった。
- ・町内会餅つき、子どもお楽しみ会行事を活用し、餅つき、ビンゴゲーム及び会食を行い、なごやかに三世代にわたる交流ができたのは良好な事業となった。
- ・警察署の生活安全課に詐欺等の教育を受けるとともに、親睦を深めまた民生委員とも交流を深め、心情の把握にも効果があり有意義な触れ合いサロンになった。
- ・近況把握に効果があつたのは良好であった。来年度についても実施していき、尋常把握に努める。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

対象者の出席が昨年よりも増えより良いふれあいサロンになった。また近況把握について効果があつたため、継続的にふれあいサロンを実施していく必要がある。

夏祭りは、多数の町内会員が参加し盛大になり情報交換と近況把握ができ良好な状態であったが、餅つきについては、冬期ということもあり若干参加者が少なかった。来年度は検討を実施し向上に努める。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 1回 除雪は122回

●対象者 一人暮らし高齢者
(対象者数12人)

●目 的 一人暮らし高齢者へのおせち料理等宅配と高齢者除雪支援

●実施事業

- ・おせち料理などの宅配を実施し、世間話などを行い直接近況の把握に努め、健康状態を把握し直接確認できたのは良好であった。
- ・福祉委員会において引き続き独居老人に対する声かけを積極的に行うことを確認し、町内会役員等に働きかけることを確認した。
- ・一人暮らし高齢者8世帯に対して町内会から122回の除雪支援を受け、生活・緊急避難経路を確保できた。また委嘱除雪ボランティア8名で除雪支援組織を確立し、さらに福祉委員及び町内会役員がさらな支援を実施するとともに近況把握に努めることができた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

対象高齢者宅を直接訪問したが、健康状態も良好であり、元気に正月を迎えられそうであった。

おせちを宅配された高齢者は喜んでいたりであり来年度も実施していきたい。

今年度は若干雪が少なかったものの集中的な降雪があり、除雪支援は困難であったが委嘱ボランティアの方々が献身的に実施してくれ問題なく行われた。来年度も良く計画し積極的に支援をしていきたい。

北斗北町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	153
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数

5回

●対象者

町内会長・事務局長・総務部長
福祉委員・民生委員児童委員
(対象者：9人)

●実施事業

- ・福祉委員会
福祉活動の協議・検討を行い、見守り世帯等に

関する情報交換及び課題の共有を行った。孤立防止の糧とした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

課題の発見と高齢者孤立防止につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数

4回

●対象者

高齢者・子ども・町内会員
(対象者数160名)

●目的

高齢者の孤立防止と仲間作り、地域とのつながり作り

●実施事業

- ・親睦パークゴルフ大会
パークゴルフを通じ会員との交流（春・秋2回実施）
- ・夏祭り
子ども達に合わせて高齢者や会員との交流の場として実施
売店による 焼き鳥・焼きそば・ビール・ジュース等の提供 おやつの配布・盆踊り・抽選会等の実施（年1回実施）
- ・敬老会(対象は75歳以上)
食事をしオードブルとつまみで杯を交わし余興で楽しんでいただいた。（年1回実施）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

一人暮らし高齢者や障がい者の状況把握につながった。参加者同士の交流により近隣のつながりが深まった。引きこもり防止・孤立防止の一助になった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数

4回

●対象者

高齢者・病弱・障がい者
(対象者：160人)

●目的

地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

●実施事業

・除雪支援

一人暮らし高齢者や重度障がい者世帯に対して、生活道路の確保と安否確認を兼ね除雪作業を実施（5世帯79回）

・75歳以上の独居高齢者に「お祭りチケット」の配布（年1回）

お祭りの売店で1,000円相当の買い物ができる「お祭りチケット」を対象者にお届けし、お祭りへの参加呼びかけと合わせて生活状況の確認を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

近隣住民の積極的な協力もあり、地域とのつながりや独り暮らし高齢者の孤立防止につながった。困りごとに対する相談や細やかな支援により、安心して生活できる環境づくりにつながった。

自由ヶ丘町内会

福祉委員人数	59人	世帯数	1287
--------	-----	-----	------

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 13回

●対象者 高齢者・福祉委員・役員 民生委員（高齢者数約500人）

●目的 相互の親睦を図り、地域の仲間づくりと引きこもりの防止

●実施事業

1. パークゴルフ大会

高齢者と地域住民との交流を行った。
（回数2回：1・6区）

2. お楽しみ交流会

- (1) 焼肉：5回（2区・3区・4区・5区）
- (2) お楽しみ会：1回（5区）
- (3) 流しソーメン：1回（6区）
- (4) 新年交流会：2回（1区・2区）

3 敬老会

対象年齢75歳以上で毎年増えているが、こ

こ3年ぐらいは逆に参加率が落ちてきている。高齢者が多くなり参加する方が減ったものと思われる。

●事業成果

毎年同じ状況ではあるが限られた予算の中で区長との連携等工夫を凝らし、多くの参加を呼びかけ、各種演芸の披露（練習成果）と観賞で高齢者・地域住民との交流親睦が図れた。敬老会については、年々対象者が増える中ここ2～3年参加率が落ちてきている。将来参加者が増加した場合、悩みは会場の確保です。

1 調査活動（実態把握）

●実施回数 1回

●対象者 65歳以上

●目的 年長者名簿の作成と敬老会対象者（75歳以上）の掌握

●実施事業

・年長者名簿の作成

町内会在住の65歳以上の年長者名簿の作成
年1回調査実施（5月）

・各区長と福祉委員との連携による会員名簿の更新と状況の確認。

●事業成果

1. 65歳以上年長者を掌握
2. 敬老会・桜寿会への参加・入会の促進
3. 家庭環境・家族構成・健康状態の把握

桜木町内会

福祉委員人数	21人	世帯数	660
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 12回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員 （対象者：22人）

●実施事業

・福祉委員会

年間の活動を協議（年7回開催）

- ・福祉だより

6月9月発行

- ・研修会

部長研修（2）出前講座（5月8月11月）

2月は新型コロナウイルスで中止

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 2回
- 対象者 独居高齢者、高齢者世帯（対象者数 350人）
- 目的 安心して生活できる町内会づくり
- 実施事業
 - ・高齢者名簿（70歳以上）
町内を4地区に分けて民生委員と協力のもと把握
 - ・福祉マップの作成
一人世帯（32）、高齢者世帯（80）、日中一人世帯（20）など色分け
 - ・福祉だよりを持って1～2ヶ月ごとに訪問。また町内行事の案内や敬老会の案内など利用して訪問活動につなげる。
 - ・支援の必要な世帯を調査し状況を把握（5～8世帯）

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 27回
- 対象者 高齢者、子ども、町内会員
- 目的 日々の生活が安心して元気に過ごせるように手助けする
- 実施事業
 - ・いきいき百歳体操
月2回（第2・第4木曜）実施
（毎回20人～30人程参加）
 - ・交通安全教室（11月28日）
老人クラブと共同で行う。（20人参加）
 - ・子ども餅つき交流会
青年部と協力しつきたてのおいしい餅を食べながら交流。（10人参加）
 - ・敬老会（10月20日）
対象者（75歳以上）260名のうち、90名が参加

し会館がいっぱいになった。ほかの町内会行事に出にくい人も車で送迎し楽しんでもらいました。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 通年
- 対象者 高齢者
- 目的 地域で支え合う・近隣の友好の手助けをする
- 実施事業
 - ・除雪支援活動 対象者14名（12月～3月）
除雪支援のメンバーをお願いして対象世帯への見守りを兼ねて実施。今年はまれにみる雪の少ない年であった。
 - ・隣同士の見守り世帯（3世帯）
ゴミ出しに出て玄関で転倒が発生（1）介護をしながらの仕事で疲れた世帯への声掛け（1）
- 事業成果
近隣住民とのネットワークが出来つつあり非常事態を防ぐことが出来ました。だんだんと自宅で生活が出来なくなり介護施設への入所される方が増えている。



北栄南町内会

福祉委員人数	11人	世帯数	387
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 17回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員

- 児童委員(対象者数 11 人)
- 目 的 福祉活動における情報交換を行い、問題の早期解決に努めるとともに、委員の資質向上を図る

●実施事業

1. 福祉委員会（2 回）

定期的な会合を開き、福祉事業の実施及び町内会・コミ協行事への協力・参加要領を協議・調整した。また要配慮者の情報交換、課題の共有に努めた。都合により委員会を開くことが出来なかった 10 月と 2 月は文書配布等により補足した。

2. 福祉委員の訪問等により安否の確認やイベントの案内及び「救急カード」の推進（7 回）

特に新たに町内会転入の機会をとらえて「救急カード」の配布と千歳市と連携して「災害時避難行動支援者個別計画」の台帳整備を行った。

3. 北栄・新富福祉委員会の役員会・研修会への参加（3 回）

北栄・新富の 6 町内会合同で福祉活動の協議・検討を行うとともに、合同研修会やお楽しみ会に参加した。

4. 福祉研修会への参加（5 回）

市町連、社協及び西区地域包括支援センターの研修会に参加をして、福祉の現状・問題点、その解決法を学習した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

福祉事業に対する地域の理解を深め、福祉委員及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が概ね円滑に進められた。また、福祉委員の資質向上を概ね図ることができた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対 象 者 高齢者特に独居者・障がい者
児童（対象者数 250 人）

- 目 的 要支援配慮世帯の状況把握

●実施事業

1. 高齢者名簿の更新

日常の声かけ、訪問活動により高齢者世帯特に独居高齢者世帯や障がい者世帯の実態を把握して、高齢者名簿を整備した。

2. 災害福祉マップの更新

特に独居高齢者、障がい者世帯等の現況を把握し、災害時の避難誘導に備えた福祉マップを整備した。

3. 災害時避難行動要支援者個別計画による実態把握の実施

希望された対象者の個別計画申請手続き業務の実施を通じて、市と連携して災害時の要支援世帯の状況を把握した。

4. 独居高齢者等の除雪支援者の選考調査

今年度の除雪支援対象者の選考のため、訪問等により調査を実施した。

（支援対象者 6 名 支援者 4 名）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が効果的に行われるとともに、災害時等の備えにもつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対 象 者 町内会員特に高齢者・障がい者・子ども等（対象者数 300 人）

- 目 的 高齢者、特に独居高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり 児童との交流

●実施事業

1. 介護予防サロン（月 4 回、44 回）

介護予防体操、おしゃべり、食事会（第 2・4 火曜日）を実施し毎回 15 名以上が参加し、交流を深めるとともに、健康管理に努めた。

2. ふれあいサロン（10/27）（参加者 37 名）

65 歳以上の高齢者を対象に、福祉委員が案内に回り、食事会、ゲーム、ビンゴ大会を実施し交流を深めた。

3. お楽しみ会 (6/22)

北栄・新富6町内会福祉委員合同による高齢者の交流を実施し、余興、食事会、抽選会等で盛況に終わった。町内からは、高齢者17名福祉委員10名が参加した。

4. 三世代交流餅つき大会 (4/28)

親子、孫、役員が一体となり餅つきを体験し、終了後雑煮等で会食を行うとともに、一人暮らしの高齢者には福祉委員が安否確認を兼ねて「餅パック」を28名に宅配した。

5. 町内会敬老会 (9/28)

75歳以上の高齢者に対し、福祉委員が案内して参加者を掌握、当日の不参加者51名に安否確認を兼ねて「記念品」を宅配した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態の把握が概ねできた。

また、高齢者や児童との交流ができ、地域のつながりに役立った。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者特に独居者・障がい者
(対象者数200人)

●目的 高齢者特に独居高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり

●実施事業

1. 見守り・声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

2. 一人暮らし高齢者及び敬老会不参加者へのお餅セットや記念品宅配(2回)

三世代交流餅つき大会で独居者に対し、お餅パックを28名に宅配した。また、町内の敬老会への不参加者の高齢者51名に記念品を宅配した。

3. 独居高齢者等の除雪支援活動

独居高齢者及び障がい者の6世帯を厳選して、福祉委員4名により除雪支援を実施した。

4. 災害時避難行動要支援者の個別計画の推進

市と連携し、申請希望者の手続き業務を行う等により、要支援世帯の状況を把握した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

特に一人暮らし高齢者等の孤立死を未然に防止でき、安心・安全な地域づくりに役立った。

北栄東町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	235
--------	----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 8回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数9人)

●目的 福祉委員の資質の向上、委員間の情報交換

●実施事業

・福祉委員会(民生委員を含む)

各委員の担当地区の状況を委員間で情報交換し、福祉部が行う行事を立案、実施
北新コミ協行事及び研修会に参加

●事業成果

委員の役割、知識の向上また研修会に参加をし福祉活動のスキル向上につなげることができた。

2 調査活動(実態把握)

●実施回数 随時

●対象者 高齢者148名

●目的 高齢者・単身者の把握

●実施事業

・高齢者名簿の作成

65歳以上の高齢者の地区別に区分したものを作成し、福祉委員の活動がしやすいようにした。

- ・一人暮らし高齢者名簿の作成
高齢者名簿とは別に一人暮らしの方の名簿を作成し孤立防止活動が重点にしやすいうようにした。
- ・高齢者住居の地図作成
居住の地図を明確にし、町内会に加入されていない方の把握に努めた。

●事業成果

名簿、地図の作成により委員の活動がスムーズに行うことができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 89 回
- 対象者 高齢者（対象者数 148 人）
- 目的 高齢者の孤立防止と地域の交流・防災

●実施事業

- ・敬老会
70 歳以上の高齢者を招いて、会食、余興、カラオケで交流を図り参加者が楽しんだ。参加が出来なかった高齢者を戸別訪問し記念品を届けた。
- ・カラオケサロン（毎週木曜日）
13 時から 15 時の 2 時間、カラオケを楽しんだ。
- ・いきいき百歳体操（毎週月曜日 13：30～）
百歳体操を行い高齢者の健康維持を図った。
- ・餅つき
幼児・児童・高齢者三世代交流が図られた。児童たちと一人暮らし高齢者にお餅を届け合わせて火の用心を啓蒙した。
- ・その他
夏休み早朝ラジオ体操、北新コミ協高齢者お楽しみ会参加。

●事業成果

老人クラブ、青少年部、民生委員児童委員等連携を取りながら事業を行った。交流を深め孤立感の解消に成果があった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通して実施

- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 孤立の防止・地域の支え合い
- 実施事業
・見守り、声かけ訪問
日常的に生活状況を把握し、安否確認や生活支援を行った。
- 事業成果
孤独死の防止に役立った。

新富西町内会

福祉委員人数	5 人	世帯数	180
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 8 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員（対象者数 23 人）
- 目的 福祉委員活動における情報交換と資質向上
- 実施事業
・福祉委員会
福祉活動の協議や検討及び見守り世帯等に関する情報の交換、課題の共有を行った。（2 ヶ月に 1 回実施）
・福祉委員会による研修会（懇談会）の実施（年 2 回実施）
有識者による研修会では、介護予防や健康維持、認知症への思い等の連携強化を図りました。
地域福祉の各種研修会へ出席（福祉委員全員）
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果

年 2 回のサロン会場での交流で見えてきたのは、日常の見守りや声かけ訪問の重要性と情報交換の大切さを感じました。

新富東町内会

福祉委員人数	14人	世帯数	240
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員・町内会役員等（対象者数32人）
- 目的 福祉委員活動における情報交換・共有・資質向上

●実施事業

- ・町内役員会・福祉委員会（2ヶ月に1回実施）

福祉活動の協議、検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉活動に関心が高まり福祉委員同士の連携強化につながりました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 一人暮らし・高齢者・障がい者（対象者 100人）
- 目的 新たに高齢対象になった方の実態把握及び要支援世帯の状況把握

●実施事業

- ・高齢者世帯台帳の更新作成

見守りが必要な高齢者世帯、一人暮らし世帯の状況を把握するため必要に応じて声かけを行いながら台帳更新作成を行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

●事業成果

新たな高齢者、一人暮らし世帯の状況把握により声かけ訪問が行われ、町内会事業の参加にもつ

ながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 22回
- 対象者 一人暮らしの方・高齢者・障がい者等の方（対象者数約100人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

●実施事業

- ・ふれあいサロン（20回）
おしゃべり、食事会、レクリエーション、健康体操、カラオケ等
- ・日帰りバス旅行（年1回実施）
施設見学、食事会、レクリエーション等
- ・敬老会（年1回実施）
食事会、ゲーム、余興、レクリエーション

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

ひとり暮らしの方を含む高齢者等の参加者同士の交流、健康状態の把握にもつながりました。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、一人暮らし、障がい者（対象約100人）
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動。
一人暮らしを含む高齢者世帯に対し、定期的に町内会行事の案内等、声かけ訪問を行い、安否確認や生活状況の把握に努めました。
- ・一人暮らし高齢者への歳末訪問活動
年末にフェイスタオルをお届けし、併せて安否や状況確認を行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地域での交流ある環境づくりと、一人暮らし高齢者等の孤立防止につながりました。

新富中町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	305
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 8回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数 14名)
- 目的 救急カード設置、更新状況の確認、福祉委員活動、計画の立案

●実施事業

- ・福祉委員、民生委員児童委員合同会議（8回）
- ・「サロン」「小地域福祉ネットワーク活動推進事業」開催前に打ち合わせ会議を3回実施
- ・介護予防サロン「いきいき百歳体操」の計画及び実施。基本的には毎週水曜日 10:00～12:00 毎月最終日には茶話会を実施
- ・救急カード設置状況の把握・更新の推進
「サロン」開催の案内文書配布時に2名1組で戸別訪問を行い把握及び更新の推進（災害時に緊急に連絡が取れる身内の電話番号も聞き取り調査している）
- ・千歳市社会福祉協議会等の各種研修会、講習会に参加し知識の習得、能力の向上を図る。
- ・北新コミュニティ協議会、出前講座に参加し6町内会福祉部との連携を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・北新コミュニティ協議会

●事業成果

訪問活動時に複数で訪問することにより相手に安心感を与え、効果は大きかった。

複数回の会議開催により、目的の共有ができ、事業等の運営がスムーズに進んだ。

研修会・講習会で得た知識を会議で報告し、全体のスキルアップにつながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内会全世帯

(対象者数 305 世帯以上)

- 目的 要配慮者世帯（者）の把握
災害時及び緊急時対応

●実施事業

- ・「救急カード」「要配慮者」「町内会全世帯台帳」更新、確認及び緊急時の連絡先を聞き取り調査、「サロン」3回「お楽しみ会」1回の開催案内時に聞き取り調査、確認をする。
- ・「災害時要配慮者」の避難方法「地域支援者」の確保と把握
町内会防災部と連携して防災設備、避難経路の確認
- ・防災講習会に参加し知識を取得
窓口センターによる防災訓練にも35名参加する。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・窓口センター
防災センター

●事業成果

「サロン」のとき福祉委員、民生委員児童委員が訪問してお喋りしながら和気あいあいと聞き取り調査をした。防災訓練は消火器を使う練習をした。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 サロン3回・お楽しみ会1回・介護予防体操50回

- 対象者 町内会会員高齢者全員
(対象者 120人)

- 目的 高齢者の孤立防止
高齢者の体力づくり

●実施事業

- ・「サロン」（小地域福祉ネットワーク活動推進事業含む）（3回開催）
午前はお出前講座など外部の支援を受け、福祉委員手作りの昼食、午後は参加者が自由にお喋り、将棋、囲碁などを楽しむ。また、福祉委員の手作りゲームで楽しんだ。
- ・お楽しみ会（北新コミュニティ福祉部主催1回開催）
福祉委員・民生委員児童委員が戸別訪問し参

加の呼びかけし状況を確認する。

- ・介護予防サロン・いきいき百歳体操の実施
毎週水曜日 10:00～12:00、年 50 回実施
(参加者平均約 23 名) 月末は茶話会を開き親睦を深めた。コグニサイズのトレーニングを実施

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・北新コミュニティ協議会

●事業成果

戸別訪問時、複数人での活動は安心感を与え円滑な活動ができ、今後も続行する。

「サロン」開催時のゲームは皆さん積極的にまた真剣に参加していた。

出前講座などの外部支援の導入により、楽しさが増えたと好評でした。



4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、障がい者(対象者 100 人)
- 目的 地域の支え合い、孤立防止につながる

●実施事業

- ・生活支援活動

一人暮らしの高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め買物支援の手続き、また、送迎を行った。灯油ストーブの点検、換気口清掃を行った。(一人暮らしの高齢者宅の灯油の買出し)

年末には、車椅子の家庭の大掃除(福祉委員 2 名)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

高齢者の孤立防止につながった。

安心して生活できる環境づくりにつながった。

新富北町内会

福祉委員人数	16 人	世帯数	474
--------	------	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 5 回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員・町内会役員(対象者数 30 人)
- 目的 福祉委員活動に資する情報の共有

●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動に関する福祉委員相互の意思の疎通を図り、事業の円滑な実施に資すると共に、要援護者の生活環境に関する情報を交換し、特定の要援護者の見守り継続と福祉情報を共有した。

●事業成果

福祉委員相互の認識をそろえ円滑な事業推進に資するとともに、日頃の見守りについて福祉委員間で意識統一を図った。

2 調査活動(実態把握)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、障がい者
(対象者数 214 人)
- 目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

- ・高齢者名簿、特定要援護者の災害誘導「サポート」等現況早見表の作成(更新)

独居高齢者、特定要援護者世帯等の恒常的支援が必要な状況を把握するため、高齢者名簿、特定要援護者の災害誘導「サポート」等現況早見表を作成(更新)し、福祉委員による見守りや声かけに活用した。

●事業成果

定期的な更新を実施し、福祉委員による見守り活動等に資するとともに災害発生時の特定要援護者の誘導「サポート」等の万全を図った。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 99回

●対象者 高齢者（対象者数 172人）

●目的 高齢者の交流機会の継続的促進

●実施事業

・敬老感謝のつどい

80歳以上の高齢者に記念品を贈呈するとともに会食余興で親睦を深めた。

・一人暮らし高齢者交流会

独居高齢者の交流機会をつくり福祉部の手作り料理で健康と長寿を祝った。

・ふれあいサロン（5回）

カラオケ以外の懇談・囲碁・将棋等で親交を深めた。

・いきいき百歳体操（92回）

虚弱にならない、元気になる、自立できるを目標に月平均7回実施し、延べ1,012人が体力の維持・回復を図った。

●事業成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月後半から3月にかけて中止した事業もあったが、閉じこもりがちな高齢者に外出の機会を与え、他の高齢者等と交流し孤立を防止するとともに相互の親交を深めることができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 50回

●対象者 除雪困難世帯（4世帯）

●目的 除雪困難世帯の日常生活支援

●実施事業

・除雪困難世帯・指定避難所の除雪作業支援

民生委員からの情報及び高齢者名簿から除雪困難者を調査し、町内会有志（主として町内会役員）で、除雪困難世帯・指定避難所の除雪を支援した。

●事業成果

前半は小雪、暖冬で本年も作業回数は少なかったが、対象世帯から支援人員に対する多くの謝意を得るとともに作業を通じて除雪困難世帯との交流を図った。

信濃1丁目町内会

福祉委員人数

5人

世帯数

106

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 町内会会員

●目的 親睦交流会

●実施事業

1. 日帰り研修

9月8日（日曜日）20名参加。アイヌ資料館見学。平取温泉で入浴、食事会を実施し交流を深めた。

2. 交流会・敬老会（37名参加）

10月20日（日曜日）信濃町内会館。

女性部の協力を得て、信濃町内会館において高齢者から子どもまでクイズ、ビンゴゲーム、カラオケ等し、交流会及び敬老会を実施して、町内会員相互の交流を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

敬老会を含めているため、一人暮らしの高齢者の参加があり、また、子どもの参加により世代間の交流が見られるなど、親睦を図ることができた。

2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 16回（12月から3月までの除雪）

●対象者 一人暮らし高齢者・高齢者世帯（対象者数4人）

●目的 地域の支え合い

●実施事業

・一人暮らし高齢者、高齢者世帯等に対して、生活道路確保と安否確認のため町内会長、町内会

役員、福祉委員を中心に支援者が除雪を行い、生活道路を確保した。

・見守り声掛け訪問活動

一人暮らしの高齢者及び高齢者世帯に対して、日常的な見守りや健康状態などの声掛けを行い、安否の確認に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

4戸の高齢者世帯に対し、12月2回、1月6回、2月6回、3月2回 除雪を実施し生活道路の確保に努めた。

支援者も高齢化してきており、若い者世帯からの支援が勤務の関係上難しく負担が増してきている。

一人暮らしの高齢者及び高齢者世帯に対して、安否確認を行うことができた。

信濃2丁目町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	523
--------	-----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1回

●対象者 ふれあい交流会（全世帯）敬老会（75歳以上）（対象260人）

●目的 仲間づくり・ひきこもり防止・地域づくり

●実施事業

・ふれあい交流会

11月15日（金）参加者34名出前講座（いきいき百歳体操）

・敬老会

長寿を祝い親睦を深めました。対象者人数75歳以上108人（入所者を除く）赤飯で会食し、欠席した対象者には赤飯を宅配しました。

●事業成果

昨年度の胆振東部地震の体験を受け、各家庭において災害に対応すべく心構え及び情報を通じ

て単身世帯及び高齢者世帯への対応を今後の課題として話をされました。また、町内全世帯調査を実施し、町内会への加入を促進し単身高齢者及び高齢者（同居）等の把握に努めました。

2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年

●対象者 要支援世帯・障がい者（対象者30人）

●目的 支え合い・見守りあい

●実施事業

・見守り・声かけ訪問

福祉委員は担当地区の高齢者、要支援者、単身高齢者に対しては日常的な見守り、声かけ訪問を行い民生委員と連携を密にし、現況の把握に努めます。

・救急カードの普及活動

福祉委員は、担当地区世帯ごとに必要数の救急カードを再度配りながら救急カードの意義、記入内容、119番への通報要領の指導また後日救急カードの設置を確認するなど徹底を図りました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

見守り、声かけ訪問を行い、孤立しない・させないことを目指した環境づくりにつながりました。

救急カードの効果、必要性、重要性について理解を深めることが出来ました。

信濃3丁目町内会

福祉委員人数	13人	世帯数	305
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 2回

●対象者 福祉委員・役員（対象者数15人）

●目的 独居高齢者の近況（現況）の把握

●実施事業

1. 福祉委員会：年2回実施
 - (1) 情報交換及び高齢者の現状把握による問題点の検討
 - (2) 冬期の除雪支援等の要望確認
2. 福祉関連情報の提供等（月1回の「3丁目だより」を活用）
 - (1) 関係機関等が発信する福祉情報の提供、各種行事への参加呼びかけ。
 - (2) 町内会の各種行事への参加呼びかけ（サロンその他）
3. 各種講習会・懇談会への参加
 - (1) 市民ふくし講座（見守られ上手の心得等6月5日（金）へ参加

●連携・協力機関及び団体

民生委員・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

1. 民生委員・福祉委員・町内会の情報交換、連携強化、地域福祉活動の円滑化
2. 地域活動への理解、関心の高まり、関係者の資質向上

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて
- 対象者 独居高齢者・高齢者家族・障がい者15名
- 目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

1. 要支援世帯の状況把握（福祉委員会での情報の共有）
 - (1) 福祉委員による対象者の近況報告
 - (2) 対象者名簿の見直し（災害時を含め、福祉マップの修正）
2. 救急カードの整備事業（60歳以上）新規登録者9名
 - (1) 福祉部福祉委員が主体となり、会員家族の60歳以上を対象に実施
 - (2) 記入後は所定のケースに入れ玄関など見やすい場所へ設置依頼

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

1. 要支援世帯の的確な状況把握と災害時の対応強化
2. 救急カード整備による緊急時の対応強化

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 町内会行事による
 - 対象者 招待者134名
 - 目的 祝賀会（長寿を祝う会として）
- ## ●実施事業
1. 敬老会（長寿を祝う会）
 - (1) 今年度は計画を変更し、対象者全員にお祝いの品を贈答（体調不良の方にも好評）
 - (2) 訪問時に近況を把握
 2. ふれあい交流会（餅つき大会とクリスマス会を同日開催12月14日）
 - (1) お年寄り・子どもを対象に盛大に実施
 3. サロン活動（クラブ活動）
 - (1) 花あそび 年3回実施 身近な花を利用し、おしゃべりしながら談笑
 - (2) 麻雀 年2回実施 初心者から上級者まで楽しく交流
 - (3) パークゴルフ 年3回実施 6月7月9月実施し、平均13名参加
 4. パークゴルフ
5月、6月、7月、9月、の4回実施し平均13名参加 延べ52名参加

●連携・協力機関及び団体

千子連

●事業成果

1. 高齢者の安否確認・閉じこもりの防止
2. 参加者同士の交流による町内会のつながりの強化

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 独居高齢者・障がい者（対象者27名）
- 目的 地域の支え合い・連帯意識の醸成・孤立防止

●実施事業

1. 独居高齢者宅の除雪支援

- (1) 独居高齢者宅（障がい者を含む）の要除雪支援調査（民生委員と調整）
- (2) 除雪支援計画 降雪時（11月下旬～3月）
- (3) 降雪時（11月下旬3月）の通路確保・近況確認 9世帯に対して11名の協力者が実施（見守りを兼ねて）延べ157回 201人実施

2. 福祉部福祉委員の日常の見守り声かけ活動

- (1) 独居高齢者の日常の見守りや定期訪問を実施し、安否確認と現状を把握。
- (2) 高齢者（75歳以上）への長寿のお祝い品の手渡しと生活状況の把握

3. 町内会行事の開催時に安否確認やご近所の情報収集の実施

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・その他

●事業成果

地域の支え合い、連帯意識の醸成・孤立防止の継続強化

信濃4丁目町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	547
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 福祉部会 14回 研修会 3回 参加
- 対象者 町内会役員・福祉委員
民生委員児童委員（対象者数10人）
- 目的 福祉委員活動における役員の情報交換、共有、能力向上

●実施事業

・福祉委員（部）会 14回実施

高齢者の実態把握と問題点の解明を図った。
福祉活動の協議・検討及び高齢者世帯に対する情報の交換、課題の共有を行った。

連絡事項、町内行事の先取りをし円滑化を行った。

誕生日のお祝い確認83名、除雪支援の調査、

確認（対象者12件）

・福祉研修会（3回）

地域福祉の研修会に出席し、福祉活動に対する関心が高まった。問題点を共有し解決を図った。

●事業成果

- ・福祉委員同士の連携強化と情報の共有、福祉活動が円滑に進められました。
- ・福祉に関する知識の向上を図った。
- ・福祉便りを「サロン便り」で情報の提供を図りました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業

・要支援台帳の作成（更新）

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援者世帯台帳を作成し、台帳に基づき見守りや声かけを行った。民生委員児童委員の協力が必要である。

・福祉マップの作成（更新）

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを更新した。

・救急カード交付台帳の更新

町内会未加入の高齢者を、加入促進させるのが今後の課題である。2019年町内会未加入者31名中2件が加入。民生委員児童委員との協力が必要。誕生祝プレゼント時確認（旧カード更新のお願い）薬情報等の変更

●事業成果

要支援台帳、福祉マップ、救急カード等の更新により日常生活の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになったとともに、災害時の備えにもつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内在住者全員

- 目 的 高齢者の孤立防止や子どもとの交流、地域の絆づくり。

- 実施事業

- ・ ラジオ体操（信濃第2公園）

5月1日～10月31日

健康づくり及び地域のつながりづくりを目的に実施。

毎日実施、平均参加25名、信濃3丁目から小学生1名参加していただき士気を鼓舞した。最高年齢90歳で元気をもらいます。子どもを除く平均年齢は80歳。夏休み期間中の子どもラジオ体操の参加者が少なく平均9名、出席率の向上に工夫を要する必要がある。新1年生に対して皆勤賞として、町内会長から表彰と景品を渡した。最終日甘酒で次年度も元気で再開を誓い乾杯をした。ラジオ体操以外にも体力増進の運動を考案し、参加者の健康管理に寄与したい。高齢者も体力作りのため、公園内に運動器具の設置を希望するが市の対応が難しい。

- ・ 陽だまりサロン（毎月第1・3火曜日）

個人宅を開放し（担当 米満玲子）実施。茶話会を中心としたゲーム、健康づくり、食事会、研修旅行等、サロン便りを3回発行した。

5月21日：バス研修旅行、キリンビール、カルビー、地方卸市場等

6月18日：出前講座（折り紙講座）

サロン16回実施 参加人数236名

新型コロナウイルスの関係で3月以降しばらく中止。今後高齢者が増加（2025年）するので現在の状況（個人宅）では限界である。連合会館で実施する場合どのように対応するか検討すべきである。連合会館で実施した場合、料理教室、映画鑑賞等考えられるが信濃2・3丁目の合同で実施できないか今から検討すべき課題である。福祉委員の負担軽減、高齢者も自分たちで参画する意識、実行、いつまでも受け身でないサロン活動。個人宅ということで水道、光熱費等の維持管理負担が大である。

- ・ カラオケ同好会

心身ともに健康づくりに貢献しました。歌を中心としてゲーム、食事会等。回数（毎月第2、

4火曜日）20回。延べ参加人数218名、連合会館で18回実施、カラオケ喫茶で2回実施。カラオケ喫茶での開催が楽しみな参加者が多い。足の悪い高齢者は会館まで送迎を実施している。

- ・ さわやかパークゴルフ

健康と仲間づくりを行った。町内大会2回実施38名参加。同好会6回実施延べ81名参加。

移動手段を考慮すると、町内会会員の参加は限定される。心身ともにリフレッシュし、心地よい疲労感で大満足ですが、参加者が限定されるのが悩みである。

- ・ 七夕まつり

7月7日（土）信濃第2公園60名参加

七夕の意味について説明

サロンの参加者に七夕の短冊、飾りを作成していただき子ども達に喜ばれた。見守り隊の皆さん、子ども達、保護者で短冊に願いを込めて飾りました。最後に花火を実施。お菓子のプレゼント。町内の児童（保護者）も参加してくれるので顔見知りになる。短冊には親兄弟、祖父祖母等への感謝、健康の願いが多いのが特徴です。

- ・ クリスマスの集い

12月21日（土）連合会館で実施。子ども24名、大人15名参加。

見守り隊、子ども、保護者によるクリスマスリース作り、ゲームで楽しんだ。大人も子どもも物作りに夢中になり大好評で引続き実施したい。サンタからのプレゼントで解散。

見守り隊の皆さんにお願いし、通学時子ども行事の先取りを伝達し、伝達後回覧を回している。町内会に加入していない保護者にも伝達

- ・ 高齢者の集い

10月12日（土）66名参加。食事会、余興、ゲーム、写真撮影など。手作り料理やなべを囲み皆さん大いに喜んでいただいた。特に青少年部の鈴木さん手作りそばが大好評で、そばの話題で盛り上がりました。カラオケ、ビンゴ、じゃんけん大会で全員が参加をして笑顔であふれていました。案内状を10名の福祉委員が安否確認を兼ねて一人一人声かけをして手渡し

た。足腰の悪い 12 名は、送迎し参加者の増加を図った。65 歳以上の方に案内状を出しているが、毎年約 65 名前後であり参加者が限定されている。写真を見ると 10 年前より少しであるが人員に変化があり、続けることの大切さが必要である。

・日帰り旅行

9 月 23 日（月）岩見沢方面、大人 33 名、子ども 11 名参加。ユニガーデン、安平道の駅など、台風の為リンゴ狩りとユニガーデンの散策は中止した。

昼食のバイキングは大いに楽しみました。

・対面式（子どもと見守り隊の感謝の食事会）

コロナの影響で中止

小学校卒業生及び新 1 年生にはお祝い

（卒業生 6 名 新 1 年生 10 名）

・子どもみこし

8 月 24 日（日）安全管理（責任者の指定）

五穀豊穰を願い子どもたちと一緒に祈りし、元気に出発し町内一周（35 名参加）見守り隊の皆さんには交通統制のお願い。子ども達にはこずかい幼児にはお菓子のプレゼントをした。子どもたちの最も大きな楽しみであるので継続して実施したい。

・鯉のぼり掲揚

4 月 6 日～5 月 11 日

入学、進学のお祝いに合わせて鯉のぼりを掲揚した。大人も子どもも田園風景を楽しむとともに、子どもたちには信濃 4 丁目で育ち地域の人に愛されていることを感じてほしい。町内はもとより近隣の幼児、子ども、町内在住の人にも大好評であり継続して実施したい。

●事業成果

情報交換、健康増進、地域の絆づくりに貢献。夏休み期間中は高齢者と子どもたちの絆を深めた。高齢者の孤立防止につながった。五穀豊穰の意味を深める。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者・高齢者を介護

する家族・母子・父子家庭

●目的 コミュニケーションを図り逐次会話を通じ生活環境、健康状態を把握するとともに要援護者の精神的空洞化を防止する。

●実施事業

友愛訪問活動

・一人暮らし高齢者（通年）32 名

一人暮らし高齢者世帯に対して、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努める。一部ゴミ捨ての支援を実施した。

・80 歳以上の高齢者（プレゼント）

毎月第一土曜日に福祉部全員でメッセージカードを添えて訪問。誕生プレゼント（83 名）実施。安否確認や心配事の相談に努めました。訪問時救急カード現在の状況確認

・高齢者（入院を含む）を介護する家族（通年）

家族との会話を重点に生活状況の相談を受けながら除雪支援の実施

・母子、父子家庭

保護者と子どもがともに成長するように見守りの実施、悩みごとの相談を受け入れる環境づくりに努め、4 件の相談を受けた。

●事業成果

逐次会話を通じ生活環境・健康状況を確認するとともに高齢者の孤立防止に努めた。

母子家庭、父子家庭に対し空洞化に努めた。児童には常に声かけを実施した。

富士町内会

福祉委員人数

25 人

世帯数

505

1 調査活動（実態把握）

●実施回数 10 回（6 月～3 月）

●対象者 独居 32 名・高齢者 34 世帯・障がい者 13 名

●目的 要支援世帯の状況把握と安否確認

●実施事業

福祉部主管事業、民生委員

- ・要支援世帯台帳の更新メンテナンス

支援の必要な高齢者世帯、障がい者の状況把握、問題があれば会長へ報告

●連携・協力機関及び団体

民生委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

つきたて餅の配布、大好評でした。福祉部によるドアトゥードア訪問で100%チェック。有難うございました。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5回

- 対象者 高齢者・独居高齢者他

- 目的 町内会員の交流・安否確認・連帯意識の醸成など

●実施事業

- ・温もり弁当配布（6月3日（月））

独居高齢者、高齢者世帯に回覧板でPRし130食を福祉部員20名にて配布した。

- ・敬老会（9月15日）

75歳以上61名が参加。北斗中リコーダー部や踊り中野社中が出演。

- ・ふれあい交流会（10月7日（月））

60歳以上40名の参加。日帰りバス旅行で小樽運河を散策。会員の中より進行係発見、素晴らしいリードで時間を飽きることなく過ごせました。来年もお願いいたしました。

- ・文化芸能発表会（10月21日（日））

108名参加。福祉委員にて独居・高齢者世帯へ告知、回覧板等で案内。ハワイアンダンス、踊り、吟舞、特別出演「ティチャーズ」、作詞家菊地勝氏で大変盛り上がりました。

- ・餅つき交流会（12月15日（日））

98名参加。子ども達も餅をつくため少し時間を要した。餅を自分たちで包み、お土産とし、雑煮を全員で頂いた。また、独居・高齢者世帯全世帯に福祉委員がつきたての餅を安否確認も兼ねて配布した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・

老人クラブ

長都駅前町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	446
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10回

- 対象者 町内会長、町内会役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数20人)

- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有及び資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会（毎月1回）

福祉活動について協議、検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

10回実施、3月4月はコロナのため中止

- ・「福祉委員会だより」の発行

介護予防や健康維持に関するイベントの案内を掲載しました。4月1回発行

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり地域福祉活動が円滑に進められた。福祉活動に対する関心が高まり福祉委員の資質向上につながりました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数60人)

- 目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

- ・要支援世帯台帳の作成(更新)

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため要支援世帯台帳を作成(更新)し必要に応じて見守りや声か

けを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになったほか、災害時の備えにもつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 高齢者・障がい者・子ども
(対象者数 75 人)

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

●実施事業

・日帰り旅行（年1回）

福祉バスを利用して洞爺湖火山科学館と昭和新山を見学し町内会員同士の交流を図った。

・夏祭り交流会（年1回）

町内会の夏祭りに合わせて、町内会員、高齢者と子どもとの交流会を実施して地域のふれあいを図った。

・茶話会（年1回）

町内会館を利用して食事会やゲーム等行いレクレーションを通じて地域のふれあいを図りました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・老人クラブ

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配事の把握につながった。参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 65 人)

●目的 地域の支え合い

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者・障がい者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

・生活支援活動

一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、相談事や家事に関する生活支援を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

町内会員にも協力をいただき、地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

静和町内会

福祉委員人数

5人

世帯数

102

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 12回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数 5 人)

●目的 福祉委員活動における情報交換・共有

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議・検討及び情報交換を行った。

・千歳地域 SOS ネットワーク研修会参加

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化となり、福祉活動がスムーズに進められ、福祉活動に対する意識向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 65 歳以上の高齢者
(対象者数 79 人)

●目的 高齢者世帯の状況把握

●実施事業

・高齢者名簿の作成

65 歳以上の高齢者世帯を把握して必要に応

じて見守りや声かけを行った。

●事業成果

高齢者世帯の状況把握により日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 65歳以上の高齢者（対象者 79人）

●目的 孤立防止のための親睦と交流
地域のつながりづくり

●実施事業

・日帰りバス旅行

旭山動物園

・秋のお楽しみ会（近郊バスツアー）

千歳防災センターそなえーる→千歳埋蔵文化財センター→サッポロビール工場見学を行った。

・町内合同による新年会

●事業成果

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになった。大きな地震に備え防災センターの体験も有意義であった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 65歳以上の高齢者
（対象者数 79人）

●目的 安否確認と孤立防止

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

年間を通じて行事案内、記念品等の配付時に訪問し安否確認と世帯状況の把握に努めた。

●事業成果

会話を通じ健康状況等を確認ができ、孤立防止につながった。



おさつ団地町内会

社委員人数

9人

世帯数

813

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 10回

●対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 20人）

●目的 福祉委員活動における情報交換・共有事業の計画及び反省。福祉便りの発行。学習会、見学会を地域に知らせるとともに参加を促す。

●実施事業

1. 福祉部会（年6回）

・福祉委員会と民生委員児童委員合同で事業の計画を協議・検討し当日の分担準備と事後の反省
・1年間の活動を振り返って、来年度のより良い活動を考える。

2. 福祉だよりの発行（年4回）

・行事を案内し参加を促す意図で発行する。部員の手配りも併用する。

3. 学習会

・「姿勢健康講座」肩こり、腰痛に困っている高齢者を対象に予防・対処要領等を詳しく学んだ。

4. 見学会

・介護老人保健施設「北星館」を見学・学習しみんな満足して帰られた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ他

●事業成果

福祉委員と民生委員児童委員で活動の計画・協議をすることで理解が深まるとともに連携強化につながった。

行事参加依頼のために案内お便りを手渡すことで関係ができてきた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 4回

●対象者 一人暮らし高齢者（対象者 100人）

●目的 高齢者名簿作成、健康状態確認

●実施事業

- ・一人世帯・高齢者世帯の名簿作成

昨年4つの行事に参加した名簿をもとに今年度は更新し把握に努めた。

- ・各担当区の委員は名簿を整理、見守りをする
ことで情報を記録し来年以降の準備をする。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

行事参加で顔を合わせ、会話をすることが見守りや訪問することにもつながり関係が密になってきた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 会員・高齢者・老人クラブ・町内 会役員（対象者100人）

●目的 会員・高齢者・老人クラブ・町内 会役員が触れ合うことでつながり づくり

●実施事業

1. お楽しみ会

すずらんハーモニカの皆さんに昔懐かしい曲を演奏してもらい、演奏を聴くとともに歌を歌い楽しんだ。

2. いきいきライブ

「沖縄三味線」、「二胡の演奏」、昼食、ビンゴゲームでふれあいをもつ。（足の弱っている方はタクシーで送迎）

3. 餅つき

町内会部合同で年末餅つき大会をする。幼児から高齢者まで参加し昔ながらの餅つきを体験する。できあがった餅はみんなで食事会をし三世代交流を図った。

●連携・協力機関及び団体他

町内会役員・老人クラブ他

●事業成果

役員間の協力、子どもの餅つき、餅丸め体験等で、高齢者が昔培った技が発揮させることでお互いに交流した。タクシーを利用することで足の弱っている方も参加できた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 数回

●対象者 高齢者・障がい者・ひとり世帯（対 象者数100人）

●目的 孤立防止、声かけ訪問による見守り

●実施事業

- ・孤立防止

一人暮らし、病気がち高齢者には気をつけて時おり見守り

- ・声かけ訪問による見守り

夫婦世帯でも片方が病気がちや、ともに弱ってきている家庭もあるので注意して見守り

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

毎週土曜日の介護予防体操に参加する方、協力する方なども含めて高齢者の体や心の変化を交流することで判るようになった。

あずさ町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	720
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 8回

●対象者 福祉委員（対象者数20人）

●目的 福祉活動における情報交換と共有

●実施事業

- ・福祉委員間の情報の共有
- ・一人暮らしの方の動向を情報共有
- ・介護予防センターによる体操指導
- ・地域包括支援センターの広報

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員との連携が出来た。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数 80 人）
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者の状況把握
- 事業成果
個人情報保護のため障がい者の把握が難しく成果なし。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2～4回
- 対象者 町内会員（対象者数 100 人）
- 目的 町内会員相互の交流
- 実施事業
 - ・ふれあいサロン
おしゃべり、体操、ゲームなどで楽しんだ。
 - ・敬老会
会食、カラオケ、ゲーム等で交流を図った。
 - ・折り紙教室
社協の協力により指導していただいた。
- 事業成果
高齢者の閉じこもり防止と運動不足解消に良かった。

富丘 1 丁目南町内会

福祉委員人数	9 人	世帯数	86
--------	-----	-----	----

1 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数 9 人）
- 目的 被支援者との日常の意思疎通及び信頼関係の保持
- 実施事業
 - 1. 一人暮らし高齢者との会食の機会提供や給食による交流を 3 回実施した。
 - 2. 一人暮らし高齢者・障がい者への声かけと安

否確認を月に 2 回実施した。

- 3. 氷柱などの危害予防の気配りでは月に数度、町内の危険箇所の発見と対処をしました。
- 4. 冬期間避難経路維持のため、除雪支援 6 軒の実施及び支援担当者を確保した。
- 5. 高齢者世帯の実態調査を実施し、次年度に支援が必要と思われる会員を 12 世帯とした。

●事業成果

コロナウイルスによる影響での休止を除いて概ね良好に推移した。民生委員、福祉部及び女性部の委員が定期的に被支援者を訪問した。

また、「いきいき百歳体操教室」を月に 2 回開催し高齢者を含み毎回 12 人程度の参加者がおり盛況であった。「敬老会」は盛況に推移し問題なく終了した。今年度は特に大きな問題もなく順調に推移した。

富丘 2 丁目町内会

福祉委員人数	9 人	世帯数	240
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10 回
- 対象者 町内会長・福祉関係役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 15 人）
- 目的 福祉委員間における情報交換・共有・広報・資質向上等
- 実施事業
 - ・福祉委員会
福祉活動、事業等の協議、検討を行うとともに、日常活動における対象者世帯の情報を共有、活動上の課題等の情報交換を実施し、活動を容易にしました。
 - ・福祉関連行事の広報
対象者宅を訪問し現況把握に努めるとともに、行事案内の配布と参加の勧誘を行っています。また、「町内会だより」を活用し、福祉関連行事案内及び実施結果を周知に努めています。

- ・研修会等参加

福祉に関する研修会に参加を奨励し資質の向上に努めています。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・富丘クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

地域福祉活動を円滑に実践するために福祉委員会委員間（町内会長・福祉部長・総務部長・福祉委員・民生委員児童委員）の連携強化に努めて、地域に居住する人たちとの理解を得られながら進めました。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 一人暮らし高齢者・障がい者
(対象者数 28 人)

●目的 対象世帯等の状況把握

●実施事業

- ・要支援世帯一覧表の更新

一人暮らし高齢者等の転居、新たな対象世帯の状況を把握して一覧表を修正し、福祉委員等に配付、情報提供し、日常の見守り、声かけ等の活動を容易にしています。

- ・福祉マップの更新

一人暮らし高齢者、障がい者及び高齢者世帯等の避難行動要支援者を対象とした展開図を修正し、福祉委員会を構成する町内会役員、福祉委員に配付し、日常の福祉活動に使用するとともに災害時に備えています。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・富丘クラブ・市役所

●事業成果

要支援世帯等の状況把握が容易となり、日常の見守りや近隣住人からの情報入手訪問による声かけ、現況の確認等が円滑に行われるようになった。福祉マップは災害時における備えとしています。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 12 回

●対象者 高齢者・児童及び家族、町内会員
(対象者 100 人)

●目的 一人暮らし高齢者等の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくりを深める。

●実施事業

- ・ふれあいサロン（年 1 回）

千歳学出前講座受講：「カラーリング」

- ・お楽しみ交流会（年 1 回）

子どもたちの夏休みに合わせて高齢者等の交流会。ゲーム、レクリエーション、お楽しみ抽選会

- ・お楽しみ昼食会（年 1 回）

一人暮らし高齢者との昼食会懇談、ゲーム、余興、食事会

- ・町内会行事支援による交流

ラジオ体操：子どもたちの夏休み期間、高齢者、全員、暢寿園利用者（10 日間）

冬まつり：ゲーム、レクリエーション、子ども、高齢者（年 1 回）

子ども神輿：子ども、会員による暢寿園を巡回（年 1 回）

町内会・敬老会：日帰りによる交流、高齢者、全員（年各 1 回）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・富丘クラブ・レクリエーション協会

●事業成果

一人暮らし高齢者等の会合では、近況の安否確認、健康及び日常の心配事等の共通の話題による仲間づくりとふれあいを深めることができた。

町内会の行事参加で地域の人との交流による閉じこもり防止につなげております。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 一人暮らし高齢者・障がい者
(対象者数 28 人)

- **目 的** 孤立防止につなげる地域の支え合い

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者等世帯に対する日常の見守りによる生活変化や随時訪問による声かけと安否確認を行い生活状況の把握に努めました。

- ・生活支援活動

一人暮らし高齢者、障がい者世帯等の状況把握に努め、健康及び生活上の相談にも細やかな対応に努めて、信頼と不安解消につなげております。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・富丘クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

一人暮らし高齢者等の対象世帯の見守り声かけは、機会あるごとに実施に努めており、地域住民のみなさんと地域一体となって孤立防止に努めています。

生活上の困りごと等の相談にも細やかな対応に心がけて信頼につなげております。継続的な支援活動を行うにあたっては民生委員児童委員との連携に努めております。



令和元年10月11日 富丘3丁目南町内会

富丘3丁目南町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	250
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 4回

- 対象者 町内会長・福祉委員・女性部他
(対象者数 25人)

- 目的 福祉委員活動における委員間の情報交換・共有、資質の向上

●実施事業

- ・福祉委員会、女性部合同研修会

年間及び月間行事・事業の概要検討と推進、日常の小さな情報でも研修会で発表して、情報の共有化を図った。

●事業成果

福祉委員同士及び女性部部員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 57回

- 対象者 町内会長、福祉委員、女性部他

- 目的 福祉委員活動における委員間の情報交換・共有、資質の向上

●実施事業

- ・介護予防サロン

いきいき百歳体操を毎週金曜日に実施、終了後茶話会にて情報交換。

- ・ふれあいサロン（いどばた交流会）

老人施設に寄贈する清拭用タオルを縫いながらおしゃべり、歌、お茶会を行い笑顔あふれるひと時を過ごす。5月に花見、12月に忘年会を実施した。

- ・一人暮らし高齢者へ暑中見舞い・寒中見舞いのハガキ送付

高齢者になると手紙等を頂くことも少なくなることから喜ばれた。

- ・日帰り温泉バス旅行（6月と10月の2回実施）

送迎バスを利用し近郊の温泉で一日親睦を深めた。

・敬老会

75 歳以上の高齢者宅を福祉委員が訪問し、案内状とお祝いの品を届けた。また敬老会当日は 32 名の方が参加し喜んでいただきました。

●事業成果

参加者同士の近隣のつながりづくりに効果があった。

福祉委員及び女性部との連携強化につながり地域福祉活動が円滑に進められた。

富丘 3 丁目北町内会

福祉委員人数	6 人	世帯数	166
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 20 回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員（対象者数 30 人）

●目的 福祉活動に対する連帯意識と情報の共有

●実施事業

・福祉委員会

毎月定例委員会を開催し高齢者（見守り世帯を含む）等の現況の情報を報告し合い、共有して活動の協議、検討を図った。

・福祉研修会

市からの要請による各種研修会に町内会役員と一緒に参加した。

●事業成果

福祉委員相互が情報共有することにより、より細かい見守りが出来た。研修会の参加によって得た情報を他の役員、地域住民に知らせることができた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者・一人暮らし世帯（対象者 70 人）

●目的 要支援世帯・高齢者等の状況把握

●実施事業

・要支援世帯台帳の作成（更新）

高齢者、一人暮らし世帯の状況を把握するため福祉委員会にて要支援台帳を作成（更新）し必要に応じて見守りや声かけを行いました。

・見守り・声かけ訪問活動

日本赤十字、赤い羽根、歳末助け合いの募金の際には福祉委員が中心になって回収を行い、日常の変化、安否確認、健康状態の把握に努めました。

・敬老会行事の際の参加意思確認

福祉委員が対象者宅を戸別訪し、参加確認をしながら現況の確認をしました。

●事業成果

要支援世帯等の状況把握により福祉委員が相互に町内全体の状況を共有することができ、より細かい見守りが行われるようになった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 32 回

●対象者 高齢者・子ども・子育て世帯の両親（対象者数 100 人）

●目的 高齢者間の交流による仲間づくりと孤立防止、現況の把握。希薄になりつつある子どもたちの連帯感と感性の醸成

●実施事業

・敬老会（ふれあいサロン）

75 歳以上の方を招き全役員、福祉委員が一丸となって準備した手料理を食べながら、おしゃべり、レクリエーション、ゲーム、カラオケ等行い親睦を図った。

・子どもクリスマス会

町内在住の小学生以下の子ども、子育て世帯の両親を招き、役員（高齢者含む）と一体となって、ツリーの飾り付け、レクリエーション、ゲーム等をして異世代間の交流を図った。

・いきいき百歳体操

町内会館を利用して、毎週金曜日に CD を見ながら体操を実施した。

●事業成果

高齢者等の安否確認と健康状況の把握、高齢者の活力につながった。参加者同士、異世代間の交

流により町内連帯意識につながった。寝たきり予防、認知症予防につながった。

富丘4丁目東町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	200
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 4回
- 対象者 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員（対象者数8人）
- 目的 福祉活動における役員間の情報交換、共有、資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会の開催（年3回実施）

見守り世帯等に関する情報交換、福祉活動間に発生した問題等について意見交換

- ・福祉イベント等の案内

4月定期総会時及び総会終了後の各家庭への回覧板で福祉委員、民生委員児童委員の周知
福祉イベントの案内：イベント実施前、全会員宅は回覧板（一人暮らし高齢者宅は戸別配付）
町内会行事、親睦会等へ福祉委員が参加の声をかけを実施

- ・新型コロナウイルス感染症予防リーフレットを
75歳以上一人暮らし高齢者宅34名へ戸別配付

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

町内会長、民生委員児童委員及び福祉委員間の連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められるようになり、高齢者との信頼関係も生まれています。

福祉活動に対する関心が役員間でも高まり、関係者の資質向上につながりました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年2回
- 対象者 独居高齢世帯 障がい者世帯
（対象者数48人）

- 目的 要支援者世帯の状況把握、一人暮らし高齢者の孤独死防止につなげる

●実施事業

- ・要支援者台帳の作成（更新）

日常的な支援が必要な一人暮らし高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、町内会（地区担当民生委員）として要支援者世帯台帳を年2回作成（更新）し、年間を通じて見守りや声かけを行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

●事業成果

要支援者世帯等の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、安否確認、災害時等の備えにもつながっています。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 60回
- 対象者 65歳以上高齢者、障がい者、子ども（対象者数182人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

- ・介護予防サロン

いきいき百歳体操、毎週水曜日、年50回実施。参加者合計 524名

茶話会・ゲーム 体操終了後、年2回実施。

参加者合計 35名

- ・ふれあいサロン（年1回、参加者33名）

高齢者を対象とした介護予防教室（テーマ：介護保健施設、高齢者施設の選び方）

講話終了後に食事会、カラオケ等を実施

- ・おたのしみ交流会

町内会行事（一人暮らし高齢者や子どもたちとの交流を重視、会員相互の親睦交流を深めた）

夏休みに町内会の公園を利用して、子どもたちと高齢者でラジオ体操会。7日間実施

町内会観楓会（日帰り温泉旅行）を実施、昼食会を行い親睦を深めた。 年1回実施

餅つきを実施、餅つき終了後に昼食会、茶話

会、カラオケなど。 年1回実施

●連携・協力機関及び団体

介護予防センター

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態等の把握につながりました。

参加者（会員）同士の交流により、近隣のつながりができ、高齢者の閉じこもりが少しずつ解消されていきます。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 一人暮らし高齢者、障がい者（対象者48人）

●目的 地域の支え合い、連携意識の醸成をはかり孤立防止につなげる。

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや定期的な声かけを行い、安否確認と世帯状況の把握に努めました。

・生活支援活動

一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、ちょっとサービス（花壇整備・買物・ゴミ出し・病院の送迎）の支援に対して可能な範囲の生活支援を行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター

●事業成果

近隣住民（会員）にも協力をいただき、会員同士のつながりもでき、一人暮らし高齢者等の孤立防止につながりました。

町内会も高齢化が進み、支援希望者は増加していますが支援協力者は少なく、一部の支援協力者に負担がかかり、今後は町内会活動による支援活動がますます難しくなると考えられます。

富丘西町内会

福祉委員人数

5人

世帯数

155

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 4回

●対象者 町内会長・民生委員児童委員・福祉委員 総務部長（対象者数8人）

●目的 福祉活動における各種情報交換及び情報の共有

●実施事業

・福祉委員会

一人暮らし高齢者に対する情報交換等を実施しました。

●事業成果

一人暮らし高齢者に対する情報交換を共有することができました。

一人暮らし高齢者の孤立防止につながりました。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 6回

●対象者 高齢者（対象者数26人）

●目的 一人暮らしの高齢者の見守り

●実施事業

家庭訪問及び声かけを実施しました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

安否確認ができました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 45回

●対象者 町内会員（対象者数40人）

●目的 町内会員相互の融和親睦交流を深める。

●実施事業

・町内会ふれあい日帰り旅行（年1回）

全世帯を対象として参加者を募集し観光及び食事会を実施しました。

- ・ ささやかなプレゼントを贈呈(年1回)
高齢者に対するプレゼントを通じて、安否確認、あわせて健康状態の把握を実施しました。
- ・ 介護予防サロン (実施回数 42 回)
介護予防リーダーの指導のもと、高齢者の筋肉トレーニング等を毎週1時間程度実施し、体力等の維持を図るとともに、交流親睦を図りました。
- ・ 敬老会(年1回)
対象者リストを整備するとともに、町内会会員間の親睦を図る。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

町内会会員相互の融和親睦が図られ、当活動を通じて、高齢者等に対する「生きがい」等の向上につながった。安否確認及び生活状況の把握、各種情報を収集することができより安心できる生活環境づくりにつながりました。「体力がついた」「行動範囲が広がった」等の効果があり、「知り合いが多くなった」「外出する楽しみが増えた」など会員同士の交流が図られました。高齢者の現状を把握でき高齢者と町内会会員との親睦が図られました。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 降雪時に実施
- 対象者 一人暮らし高齢者 (対象9人)
- 目的 除雪支援を実施することにより、高齢者の除雪負担の軽減等をはかる。

●実施事業

- ・ 除雪支援活動

12月上旬から翌年3月まで、除雪支援を実施し生活道路を確保しました。

●事業成果

高齢者宅の除雪負担(除雪費用等)の軽減が図られました。町内会会員間での「たすけあいの精神」等の向上が図られました。

末広東町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	749
--------	----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会役員・民生委員児童委員・福祉委員 (対象者数 30人)

- 目的 地域福祉の推進

●実施事業

- ・ 福祉会議

役員会、老人クラブの例会等の機会において役員等が出席した福祉関係の会議及び研修会等の報告を行うとともに、町内の一人暮らし高齢者、障がい者、児童の状況等や市等の福祉政策や制度などについての情報交換を行い、必要に応じて支援の在り方や制度の活用などについて協議検討を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

町内の高齢者、児童生徒、障がい者などの状況を把握するとともに、市の福祉政策等について情報共有や共通認識の形成を図る事ができ、困りごとの相談はもとより、除雪支援の対象決定や町内会行事への参加案内の拡大などに役立てている。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 3回
- 対象者 町内会員等(対象世帯数300世帯)
- 目的 幅広い年代層で健康増進と会員間の世代交流、長寿のお祝い
日本伝統の食文化の伝承と世代間の交流

●実施事業

- ・ ふれあい旅行

令和元年8月3日(土)三笠市(参加者28名)高齢とともに外に出かける機会が少なくなることから、市の福祉バスを活用し、市外の施設

等を訪問し参加者相互の交流とともに、見聞を広げるため実施した。令和元年度は三笠ジオパーク巡りを行い、三笠市立博物館では学芸員の案内により、アンモナイト化石や炭鉱を中心とした三笠市の産業史等の資料を見学し、隣接する三笠鉄道村ではトロッキ車両に乗るなどの体験も行った。例年、本事業は高齢者の参加のみであるが、世代間交流を図るため小学生の参加も募り、少数ではあったが子どもの参加もあった。

・町内敬老会

令和元年 9 月 21 日（土）末広東町内会館（参加者 65 歳以上の高齢者 37 名）町内 65 歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催し、女性部が朝早くから手料理やカラオケ・ゲームなどの余興を通じて、長寿のお祝いをするとともに、参加者相互の交流を深めた。また喜寿（77 歳）傘寿（80 歳）米寿（88 歳）の参加者には、会長から記念品の贈呈を行った。

・世代間交流餅つき大会（町内会館）

令和元年 12 月 22 日（日）末広東町内会館（参加者 高齢者、小学生等）

町内会の高齢者や小学生等を対象に、もちつき大会を開催した。臼、杵を準備し、本格的な餅のつきかたや作り方を高齢者から小学生に伝えるとともに、つきあがった餅を参加者みんなで食べ、世代間交流を図った。当日参加できなかった高齢者宅には役員が餅の配付を行い、併せて安否確認を行った。また同日子どもを対象にボウリング大会、夜回り行事を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

町内会が主催する交流等を図る行事には高齢者の参加が多いが、世代間交流を促進するため、子ども達の参加も募り内容も温泉などの慰安的なものから、学習体験の要素を盛り込んだ企画とした。結果的には子どもの参加は少なかったが、高齢者にとっても新鮮味ある内容であったものとする。

長寿のお祝いを通じて、参加者相互の交流が図られ一層の健康増進の一助となるとともに、参加者の状況や不参加者の情報など高齢者の生活状態の把握をすることができる効果もあった。

世代間交流を促進するため、子どもたちの参加について積極的に行った結果、餅つき大会では比較的多くの参加を得られた。家庭では臼と杵を使った餅つきはほとんど行われない現代において、餅つき大会は子どもたちにとって貴重な体験となったものとする。

末広中区町内会

福祉委員人数	8 人	世帯数	400
--------	-----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3 回
- 対 象 者 75 歳以上高齢者（対象者 71 人）
65 歳以上独居高齢（対象者 21 人）
除雪支援の方達（対象者 10 人）

●実施事業

- ・敬老会（対象 75 歳以上高齢者）

令和元年 9 月 14 日（土）対象者 71 名中 31 名の出席。また隣接する町内会長等の来賓を含む 46 名で執り行いました。皆様には食事、余興、ゲーム等で親睦を深めていただきました。

- ・昼食会（対象 65 歳以上高齢者）

令和元年 6 月 15 日（土）対象者 21 名中 10 名の出席があり福祉部員との交流を楽しんでいただきました。

- ・食事会（対象除雪支援担い手）

本年は流行病の影響でお礼の品をお渡しし終わりました。

花園町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	1100
--------	----	-----	------

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年
- 対象者 一人暮らし高齢者等
(対象者数 100 人)
- 目的 一人暮らし高齢者等の実態把握
- 実施事業
町内の一人暮らしの高齢者・障がい者等の要
援護者・世帯の実態を調査・把握し、随時資料の
更新を行い、地域での見守り等の体制づくりの
資料として活用している。

- 事業成果
日頃から要援護者の実態を正確に把握してい
ることで、平常時・災害時に対応でき、見守り体
制等の確立もできる。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 高齢者・現役と子ども達の三世代
(対象者数 2,000 人)
70 歳以上高齢者(対象者数 400 人)
- 目的 三世代間交流を行うこと、高齢
者の長寿をお祝いし交流する
- 実施事業

①ふれあいみんなで“お餅”

令和元年 7 月 7 日（日）に実施。参加者は約
70 人（役員 10 人）お餅を「お汁粉、きな粉、
おろし納豆」で町内の方に味わっていただいた。

②敬老会

令和元年 9 月 29 日（日）に実施。参加者は
約 65 人（他に役員 12 人）。

高齢者の長寿を祝い、懇親・交流を図り、ア
トラクション・食事を楽しんだ。

●事業成果

ふれあいみんなで“お餅”は親子連れ中心に交
流・親睦が図られた。敬老会は大変盛り上がり楽
しいひと時となった。

高台町内会

福祉委員人数	15人	世帯数	435
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生
委員児童委員（対象者数 15 人）
- 目的 各福祉事業に対する研修及び福
祉活動における役員間の情報交
換・共有、資質の向上を図る。

●実施事業

- ・福祉委員会
年間福祉事業計画の協議・検討・実行
福祉活動の情報交換・情報の共有
年 5 回の福祉委員会の開催
- ・福祉研修会
新任福祉委員の研修
災害時要援護者避難支援プラン個別計画の
周知
- ・令和元年度は隔月で定例の委員会を開催し、情
報の交換・共有ができました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員、民生児童委員間の連携が図られ、計
画した福祉事業が展開できた。福祉活動への興
味・関心が高まり、研修などを通じて一層の資質
の向上が図られた。

福祉委員が不足しているため育成が必要であ
る。毎月の委員会開催ができるよう、委員長に事
故ある場合は委員長代行による会議を開催する。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 4 回
- 対象者 高齢者・独居・障がい者等
(対象者数 150 人)
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
・要支援世帯台帳及び福祉マップの作成（更新）

見守り世帯（高齢者・独居・障がい者等）の個別台帳の更新。台帳更新の再調査のやり方、新規個別台帳の作成のための情報共有を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・市役所

●事業成果

避難行動要援護者名簿を毎年更新しているが、支援要請者が 28 名と少なく、今後は追加支援要請者の把握と名簿掲載について調査・検討していく必要がある。

今年度も見守り世帯の把握をしたが、十分でなかったことから、継続して調査を実施する。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 5 回

●対象者 高齢者・障がい者・子ども・会員
(対象者数 400 人)

●目的 高齢者の孤立防止、障がい者とのふれあい、仲間作り、世代間交流

●実施事業

・高台夏祭り・盆踊り（8 月 3 日・4 日、延 600 名参加）

昭和 35 年から実施している町内最大の行事で、高齢者の孤立防止、仲間づくり、世代間交流を図った。

・高台ふれあいデー（10 月 13 日 日帰り旅行 35 名参加 2 月 29 日 ふれあい豆腐作りはコロナで中止）

ふれあいデーは平成 21 年から世代間交流の茶話会を皮切りに、平成 25・26 年は聴覚障がい者から手話の受講、平成 28・29・30・令和元年度は何かを作る、経験者からの直伝で未経験者に教え伝える交流に取り組んでいます。

・敬老と感謝の集い（10 月 20 日 56 名参加）

平成 26 年から復活した事業で、高齢者の孤立防止、仲間作りに努めました。

・ふれあい餅つき（12 月 22 日 50 名参加）

子ども達の思い出作りと高齢者が子ども達へ、餅の作り方を伝授し、世代間交流を図った。12 月 27 日に子ども会代表から鏡餅を市長に贈

呈した。

・新年会（1 月 19 日）

花園コミセンにて 60 名の参加を得て開催し、世代間交流、仲間づくり、孤立防止を図った。

●事業成果

いずれの事業も高齢者の孤立防止、障がい者とのふれあい、仲間づくり、世代間交流を主眼に実施しており、楽しく仲間づくりやコミュニケーションが図られた。

昨年のふれあいデーは 2 回の開催であったが 2 月はコロナの関係で中止した。

参加者をより増やすために、他の専門部とも連携し多くの人に呼びかけをする。

東高台町内会

福祉委員人数

1 人

世帯数

86

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1 回

●対象者 高齢者（対象者数 150 人）

●目的 町内会員のふれあい、語らい

●実施事業

夏祭りにより帰省中の子ども達とのふれあい、住んでいる人たちとの語らい、そして夏の一夜の思い出づくり。

●事業成果

大成功でした。各所で昔話に花が咲きました。子ども達も花火大会で大いに盛り上がりました。

稲穂町内会

福祉委員人数

47 人

世帯数

634

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 5 回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員（対象者 42 人）

●目 的 福祉委員活動における役員間の
情報交換・共有、資質向上

●実施事業

・福祉委員会（年5回）

福祉活動の協議・検討及び一人暮らし見守り
世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

●連携・協力期間及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携
強化及び意思の疎通につながり、町内の福祉活動
が円滑に進められた。福祉活動に対する関心が高
まり、福祉委員等の資質向上につながりました。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対 象 者 高齢者・障がい者
(対象者数 356 人)

●目 的 高齢者世帯等の状況把握

●実施事業

・高齢者等名簿の作成（更新）

一人暮らし高齢者世帯（65 歳以上）、70 歳以
上の高齢者世帯及び障がい者世帯の状況を把
握するため、高齢者等名簿を作成（更新）し、
必要に応じて見守りや声かけを行った。

・福祉マップの作成（更新）

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況及び避
難行動要支援者等を把握し、日常の見守りや非
常時に備えた福祉マップを作成（更新）した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

●事業成果

高齢者世帯等の状況把握により、日常の見守り
や声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害
時等の備えにもつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1 回

●対 象 者 高齢者・障がい者・子ども会
(対象者数 74 人)

●目 的 高齢者の孤立防止と三世代によ
る地域のつながりづくり

●実施事業

・三世代交流会（1 回）

敬老の日になみ、大正・昭和・平成生まれ
の三世代による交流会を実施しました。会食、
芸能（舞踊等）発表、室内ゲーム、歌謡発表等
を実施し敬老の日のお祝いと子どもたちとの
ふれあいができました。

・ふれあいサロン

茶話会、物忘れ座談会、一年生との交流会等
を実施しました。（年5回実施）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議
会

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態心
配ごとの把握につながった。参加者同士の交流に
より、近隣のつながりづくりが出来ました。高齢
者の閉じこもり防止や認知症予防につながりま
した。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対 象 者 高齢者・障がい者
(対象者数 95 人)

●目 的 地域の支え合い、連帯意識の醸成
を図り孤立防止につなげる

●実施事業

・誕生祝い贈呈、見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者に対し誕生祝の贈呈及び
三世代交流会の案内配布の際、見守りや声かけ
訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努め
た。

・除雪支援活動

一人暮らし高齢者等、必要な世帯に対して冬期
の除雪支援を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

近隣住民にも協力をいただき、地域とのつなが

りづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

清流町内会

福祉委員人数	24人	世帯数	1300
--------	-----	-----	------

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数24人）
- 目的 福祉委員間の情報交換・共有、識見向上を図る

●実施事業

- ・福祉委員会（定例会議）

担当地区（1丁目～8丁目）での活動の情報交換、問題点の討議。福祉の現状、見守り声かけなどの課題共有を行った。

- ・福祉マップの補正

高齢者世帯や障がい者世帯、要支援者宅の把握をし、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを作製した。（追加、訂正、削除など）

- ・福祉研修会などへの参加

市、社協主催の勉強会や講座（ちとせ福祉フォーラム、ちとせ市民ふくし講座、市福祉大会など）5回10名が参加し識見を高めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所・老人クラブは「清流親和会」と連携。

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。研修会への参加により、福祉活動の現状を認識することができ、委員の資質の向上につながりました。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回
- 対象者 高齢者（延べ対象者数190人）

- 目的 ひきこもり、認知症予防
仲間とのふれあい

●実施事業

- ・“ふれあいせいりゅう”サロン活動

おしゃべりを中心にお茶と駄菓子で2時間余りを過ごす。（軽いストレッチ、脳トレ、漢字、ことわざ、パズルクイズなど）笑顔で楽しく過ごせる時間を共有できている。

- ・敬老会（10月13日に実施）

10月に実施し、会食・余興・ビンゴゲーム（景品付）で60数名の参加があった。

- ・一人暮らし高齢者との食事会（年1回）

餅つき大会と連動して、付きたての餅の雑煮を、婦人部の協力を得て用意。若い親子に餅のまるめ方などを教えたりして交流を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

サロン活動は定着し高齢者の触れ合いの場となっている。「脳トレ」に来ましたという高齢者もいて体と心の両面からのトレーニングは認知症の予防になっていると思う。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 通年
- 対象者 一人暮らし高齢者・障がい者（対象者数100人）
- 目的 引きこもりと孤立防止、困りごと、悩みごと（病気など）の対象者の発見と要支援者世帯の状況把握

●実施事業

- ・見守り、声かけ活動

日常活動として特に一人暮らし高齢者（障がい者）宅への訪問、声かけでの安否確認と緊急連絡先（子ども、親族など）、救急カードなどの状況把握を実施。

- ・一人暮らし高齢者への食事会の実施

町内会の恒例行事である「餅つき大会」に合わせ、一人暮らし高齢者を対象に「つきたて餅」とクリスマスプレゼントを届け、安否確認や生活状況の把握を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター・社会福祉協議会

●事業成果

引きこもり、孤立防止、認知症など対象の把握につながっている。安否確認、離れて暮らす親族の所在等の聞き取りは緊急時の対応に役立っている。

青葉3丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	165
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 4回

●対象者 町内会員（対象者数 55 人）

●目的 町内会員に対して行政・社協における福祉の役割並びに町内における福祉の重要性を理解させる

●実施事業

多くの会員が集まる総会、敬老会、新年会、役員会等において、高齢者に対して取り巻く環境を理解させ、町内会として何ができるかを考えてもらい、安心・安全に暮らせるための協力を依頼した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

福祉の重要性について理解が得られた。福祉委員、民生委員、町内会役員の連携が図られた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・独居老人
（対象者数 15 人）

●目的 町内の見守りが必要な世帯の把握

●実施事業

- ・会員からの情報
- ・対象者の訪問調査

・民生委員児童委員との意見交換

・福祉委員との情報交換

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

町内における高齢者の生活環境を把握することで、福祉が必要とされる方に手を差し伸べることができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 5回

●対象者 独居老人・高齢者単独世帯・その他（対象者数 55 人）

●目的 交流を通じて、日ごろの孤立感を忘れさせこれからの生活の安心感を持っていただく

●実施事業

町内行事の町内清掃協力・春秋のパークゴルフ大会・ラジオ体操・夏祭り・敬老会・新年会に積極的に参加してもらう。

●事業成果

多くの会員とコミュニケーションを図ることができ、信頼関係が醸成される。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 町内会員（対象者数 3 人）

●目的 見守られることで、一人暮らしの安心感につながる

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問
- ・誕生日の贈り物を届け
- ・町内会手作りのお料理のお届け（外出のできない方）
- ・生活困りごとの解消

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

安心感が得られたと思う。関係者と情報を共有することで、多くの方々から見守られることにつながった。

青葉 4 丁目町内会

- 実施回数 3 回
- 対 象 者 高齢者、子ども（対象者数 72 人）
- 目 的 地域のつながりづくり
- 実施事業

- ・ラジオ体操及び花火大会

子ども達の夏休みに合わせ高齢者の参加も呼び掛け、ラジオ体操（10 日間）と花火大会を実施し地域の融和を図った。

- ・会員交流食事会

情報交換等、地域の融和とつながり意識の高揚を目的とした食事会を実施。

●事業成果

子どもから高齢者まで各世代を交えた交流により地域の融和と連帯意識の醸成につながりました。（参加者：子ども 6 名後期高齢者 4 名を含む 16 世帯 27 名）

青葉 5 丁目町内会

福祉委員人数	3 人	世帯数	130
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 15 回
- 対 象 者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員（対象者数 20 人）
- 目 的 福祉委員活動における役員間の情報交換の共有、資質向上
- 実施事業

- ・福祉委員会
福祉活動の協議、検討及び世帯等に関する情報交換（年 16 回）
- ・福祉便りの発行（毎月 1 回発行）
- ・福祉研修会（懇談会）の実施
市の出前講座などを利用 介護予防や健康維持に関する研修会
- ・交通安全啓発
全員：春 2 回 秋 2 回

2 名：週 2 回子どもの交通安全見守りをしている。年間 80 回通学路の見守り

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。福祉活動に対する関心が高まった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対 象 者 高齢者・障がい者（対象者数 34 人）
- 目 的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業

- ・要支援世帯台帳の作成

日常的に支援が必要な高齢者や障がい者世帯の状況把握をするため。

- ・福祉マップ作成

高齢者世帯や障がい者世帯を把握し日常の見守りや非常時に備える。

●事業成果

要支援世帯等の状況把握により日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 115 回
- 対 象 者 高齢者、子ども（対象者数 48 人）
- 目 的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

- ・ふれあいサロン（老人会）毎月第 2 木曜日実施
- ・いきいき百歳体操、毎週火曜日・金曜日、月 8 回、年間 96 回実施
- ・夏休み中ラジオ体操 15 日間実施、大人も含めて 250 人参加
- ・日帰り旅行、一泊旅行
パークゴルフや温泉施設の利用を通じて会員同士の交流を図り高齢者世帯の現状把握につなげます。
- ・バーベキュー、カラオケ、ゲームなどで交流を図っています。
- ・そば打ち体験
2 回目の体験 高齢者 30 名ほど参加

●事業成果

一人暮らしの高齢者の安否確認や健康状態など確認ができた。参加者同士の交流や町内会とのつながりもできている。高齢者の閉じこもり防止などにつながりました。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者(対象者数 40 人)

●目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる。

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動を行い、安否確認を行っている。
- ・生活支援活動 一人暮らし高齢者や障がい者宅の雪かきや買物、ゴミ出しの支援をしている。

●事業成果

生活上の困りごとなどの相談に乗り安心して生活ができるようなつながりを持ちました。常に声かけをしたり電話をかけたりと孤立防止に努めました。



青葉 6 丁目町内会

福祉委員人数	6 人	世帯数	115
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 20 回

●対象者 高齢者(対象者数 56 人)

●目的 地域の支え合い

●実施事業

- ・見守り、声かけ活動

一人暮らしの高齢者に対して日常的見守り、声かけを行った。

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連帯強化に繋がり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動(実態把握)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者(対象者数 30 人)

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

- ・福祉マップの更新(更新)

●事業成果

日頃の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 40 回

●対象者 高齢者、子ども(対象者数 100 人)

●目的 地域のつながり

●実施事業

- ・老人クラブ「きらく会」
おしゃべり、食事、カラオケ、麻雀、囲碁
- ・お楽しみ交流会
夏祭り、バーベキュー、ゲーム、レクリエーション、ビンゴゲーム等。
- ・いきいき百歳体操
1 ヶ月、2 回実施
- ・子ども夏祭り(みこし)

町内子ども神輿の手伝いを実施

●事業成果

老人クラブ、町内事業、いきいき百歳体操などに参加し、体を動かしながら楽しく活動ができた。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者(対象者数 23 人)

●目的 孤立防止

●実施事業

福祉サロン、いきいき百歳体操への積極的な声かけをし、一人暮らし家庭への除雪支援を行った。

●事業成果

敬老の日、高齢者への記念品の配付、事業への参加呼びかけを行い、一人暮らし高齢者への孤立防止のため除雪支援を行った。

青葉丘町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	178
--------	----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 各年1回

●対象者 町内会会員・高齢者
(対象者数 100人)

●目的 三世代の交流、地域のつながり

●実施事業

・ふれあい屋外会食会

前日までに食材等以外を準備していましたが、当日強風のため中止としました。

・子どもみこし

日本古来の文化を次世代に伝え、子ども同士、子どもを通じて保護者等の交流の場にもなった。

・高齢者等会食会

食事会とともにカラオケ等で親睦を深めた。出席できなかった80歳以上の独居者宅には、会長及び民生委員が食事をお届けし、近況や困りごとなどの有無を確認した。

・ふれあい餅つき

高齢者の方々が持っている特技を若いお母さんお父さんや子ども達に、体験を通じて伝えるとともに、三世代の交流を図りました。また、町内会長と民生委員が80歳以上の一人暮らし高齢者を訪問し、つくたてのもちを届け近況や困り事がないか確認した。

・ふれあい日帰り旅行

参加希望者が無料送迎バス運行基準に達しなかったため残念ながら中止としました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

高齢者相互の親睦と安否確認につながり、参加者間の交流が深められた。

特に80歳以上の一人暮らし高齢者の近況と困り事等がないかの確認をすることができました。



2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 3回

●対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 80人)

●目的 民生委員児童委員、福祉委員、女性部の福祉情報の周知。

●実施事業

・訪問、電話活動、福祉情報のお知らせ

行事への出欠確認時に困りごとや健康状態を確認することができた。

高齢者等食事会や餅つきに参加できなかった80歳以上の独居高齢者に食事等を届けるとともに、健康状態や困りごとの近況把握をした。

民生委員児童委員による地区民生委員だよりと救急カードの更新等の確認と啓発。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・福祉委員会・女性部

●事業成果

行事への誘いや食事等を届けた時の会話から近況・困りごとなどの有無を把握することができた。

住吉2丁目町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	57
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 9回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数10人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有等
- 実施事業
 - ・福祉委員会（4回）
福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。
 - ・「福祉委員会だより」発行（5回）
福祉委員、民生委員児童委員の周知、ふれあいサロン、ふれあいパークゴルフ等の開催案内、福祉関係情報を掲載して発行しました。
- 事業成果
福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。
福祉活動に関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数40人）
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
 - ・要支援世帯台帳の作成（更新）
日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援世帯台帳を作成（更新）し、必要に応じて見守りや声かけを行った。
 - ・福祉マップの作成（更新）
高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを作成（更新）した。

●事業成果

要支援世帯等の状況把握により、日常的に見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害時等の備えにもつながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 20回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども（対象者数40人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・ふれあいサロン
おしゃべりや食事会、レクリエーション、健康講話、カラオケ等（10回）
 - ・一人暮らし高齢者との昼食会
カーリンコン、昼食会（1回）
 - ・お楽しみ交流会（夏・冬）
大人のパークゴルフコンペ（2回）
夏休み中の子供とのレクリエーション、ラジオ体操会（7日間）
- 事業成果
一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながった。
参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになった。高齢者の閉じこもり防止につながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数11人）
- 目的 地域の支え合い・連帯意識を強め
孤立防止につなげる
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問活動
一人暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
 - ・生活支援活動
一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況

把握に努めた。

●事業成果

地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

生活上の困りごとの相談や細やかな支援により安心して生活できる環境づくりにつながった。

住吉北町内会

福祉委員人数	15人	世帯数	260
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 12回

●対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数16人）

●目的 福祉委員会会同において役員間の情報交換・共有、資質の向上

●実施事業

・福祉委員会会同

毎月1回会同を実施して行事・活動内容を協議検討し、特に独居者・障がいのある方に対する情報を交換して、実情を把握。

・情報の供給

高齢者に対し、詐欺等の情報をその都度知らせ被害防止に努める。

・福祉研修会（講話）の実施・参加

社会福祉協議会・包括支援センター等と連携して研修会を実施し、その他各種研修会に参加した。

●事業成果

今年度は高齢者特に独居者の方の施設への入所・転居・死亡と変動が多くみられた。その都度担当の見直しを行い切れ目のない支援を徹底した。また、千歳市における避難所指定で一般災害時と水害における避難所の指定が異なることを説明し徹底を図った。現在詐欺や高齢者の交通事故等の被害は発生していない。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者（対象者150名）

●目的 高齢者を把握して事後の支援体制を確立する

●実施事業

・高齢者名簿の作成

65歳以上の高齢者を掌握して現況を確認した。

・独居者の緊急連絡先の把握

独居者の不測の事態に備えた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

今年も昨年同様65歳以上に該当すると思われる方に調査票を配布して名簿に追加した。個人情報であるため使用方法をしっかりと説明し同意できる方のみ教えていただき追加処置した。入院・転居・亡くなる等移動が多くなる年齢なので、年間を通じて見守り、声掛けでしっかりと掌握に努めている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 30回

●対象者 高齢者（対象者数150人）

●目的 高齢者・独居者と福祉委員会との交流及び高齢者相互の意思の疎通、町内会員相互の交流

●実施事業

・サロン活動（月2回）

睦会（老人クラブ）を主体に毎月2回例会を開き、茶話会・カラオケ・囲碁・将棋等それぞれの得意分野において楽しみ、おしゃべりをして気分転換を図った。カラオケにおいては、健康にも着意し参加者全員大声で合唱している。またコーラスグループを編成し町内会夏祭りやコミュニティ文化祭に出場した。練習にも熱が入り、心が一つにまとまった気がする。

・日帰り旅行

福祉委員会・民生委員と独居者・伴侶をなくされて方との交流行事として毎年行ってきた

が今年行事の関係で実施できなかった。代わりに老人クラブと共同で「小樽」「余市」方面に旅行した。

・餅つき、子ども会との交流（1回）

町内会行事の餅つきに参加して子どもたちと一緒に餅をつき、丸めて交流した。また、節分の豆まきも子どもたちと楽しんだ。

・健康運動

パークゴルフ・いきいき百歳体操・室内スポーツ大会等を通じ、運動不足になりがちな高齢者の健康の維持増進を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

町内会行事を通じ各種行事に積極的に参加するよう促し、健康管理に留意した子どもたちとの交流を図り心の癒しにもなった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて

●対象者 独居者・障がい者
(対象者数 30 人)

●目的 独居者・障がい者が安心してができるよう支援する

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

特に独居者 30 名に対し担当を通じ毎月 2 回を基準に訪問して体調や生活状況を把握し助言を行った。

・除雪支援

今年は前半雪が少なかったが 2 月から雪が多くなった。福祉委員全員で 22 名の独居者・高齢者・障がい者の支援を行った。

・家庭内の小さなお手伝い

見守り・訪問時にお手伝いの有無を確認。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

除雪は高齢者・障がい者にとっては重労働であり悩みの種である。降雪時には福祉委員全員で支援。今年は 22 世帯の支援を行った。また、除雪

をすることにより状況の把握もでき交流も深まり感謝されている。

住吉 4 丁目町内会

福祉委員人数

13 人

世帯数

390

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 14 回

●対象者 町内会長・町内役員・福祉委員・民生委員児童委員(対象者数 15 人)

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換、資質向上

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議・検討。見守り世帯に関する情報交換、茶話会において高齢者とともに介護予防体操なども取り入れて交流を図る。一人暮らし高齢者に対する詐欺などの予防、被害防止などの呼びかけをする。地域福祉に関する研修会への参加

●事業成果

福祉委員同士の連携強化と福祉委員活動に関する関心が強まった。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者（115 人）

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

日常的な支援を必要とする世帯に必要な応じて見守りや声かけを行った。障がい者家族への声かけ見守りを行った。

●事業成果

要支援世帯などの状況把握により見守り声かけなどが円滑に行われた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 36 回
- 対象者 高齢者・障がい者・町内会員
(対象者数 100 人)
- 目的 地域のつながりづくり、高齢者の
り孤立防止

●実施事業

- ・春の福祉の集い

高齢者と地域住民との交流を図った。(会食、
ビンゴゲーム、おしゃべり、カラオケを実施)

- ・秋の福祉の集い(日帰り温泉旅行)

高齢者と町内会員との親睦と交流を図る。
(パークゴルフ・会食・温泉・カラオケなど)

- ・茶話会、介護予防サロン

介護予防体操後のおしゃべり、脳トレ、カラ
オケ・ゲーム等で交流。回数は毎月第1火曜日
を除き第2～4の火曜日に実施。

●事業成果

高齢者の安否確認・健康状態を知ることができ
た。心配事等を話し合い、近隣のつながりづくりにな
った。高齢者の閉じこもり防止につながった。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者(100人)
- 目的 地域の支え合いと高齢者の孤立
防止につなげる

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者世帯に対し日常的な見守
り声かけ訪問等で、安否確認と世帯状況把握に
努めた。

80歳以上の高齢者、障がい者を支援する家族
へ町内会から贈り物を届け、併せて生活状況の
把握に努めた。

- ・除雪支援活動

支援を必要とする世帯の状況把握に努め福
祉委員の協力で行った。

- ・生活支援活動

支援を必要とする世帯の状況把握に努め、資
源物資の運搬などを行った。

●事業成果

福祉委員の協力で地域の見守り、高齢者の孤立
防止につながり生活上の困り事支援により安心
して生活できる環境づくりになりました。

住吉5丁目町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	130
--------	----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 10回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
老人クラブ(対象者数55人)
- 目的 福祉活動における対象者と福祉
情報の共有と交換、資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会、福祉だよりの発行

定例日に委員会を開催し役員会で検討した
行事報告・行事計画を「福祉だより」にまとめ、
福祉委員さんに周知し在宅の高齢者、要支援者
の最新の状況を確認し状況変化等を早期に把
握し活動啓発を目指しました。

- ・福祉懇談会の実施

最近の社会情勢、社会福祉情報に応じた介護
予防等情報資料の勉強を実施するとともに、社
会福祉協議会、町連協、コミセン等で研修した
役立ち情報を福祉懇談会で普及を図りました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町連協・社会福祉協議会・
地域包括支援センター・市役所

●事業成果

福祉委員会で対象見守り世帯に対する現状確
認が適切にできた。福祉委員の対応が適切に実施
された。現在の町内会の動きを把握した諸活動が
でき、また世相に応じた福祉問題の研修が出来た。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 2回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・老人クラブ参加者（対象者数：55人）
- 目的 福祉活動における担当者との福祉情報の共有と交換・資質の向上

●実施事業

- ・要支援世帯台帳の作成・対象者支援

支援が必要な高齢者世帯、障がい者世帯の現状を適時適切に把握した要支援台帳を整備し、常時見守るとともに対象者を適切に見守りできるように工夫した

- ・要支援マップの改正

現有する要支援マップを点検し状況変化を把握したマップの修正、改正を実施して見守り活動に役立てた震度6弱程度以上の地震時には、福祉部門担当者等が駆け付け事を確認した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

最近の世界情勢、自然災害が高齢者、福祉弱者に重大な影響を及ぼすことを認識して、高齢者等要支援者の立場に立ち支援プログラムの実行動者であることをそれぞれが確認できた。また計画訓練に参加することでそれぞれの状況の変化に応じた行動をとることが必要と理解できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 19回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・老人クラブ参加者（対象者55人）
- 目的 福祉活動における対象者との福祉情報の共有と交換・資質の向上

●実施事業

- ・ふれあいサロン活動

町内会老人クラブ（寿会）と連携したふれあいサロン活動を進め、千歳市出前講座受講、おしゃべり会や食事会、レクレーション等を行い高齢者の交流を深めました。

- ・お楽しみ交流会（夏・冬）ジンギスカン会食・懇談会に一人暮らし高齢者の方を招き福祉委員さん、女性部役員さんと交流を深め、健康状態や身近な困りごと等の把握に努めました。
- ・ふれあい日帰り旅行

高齢者世帯に参加を呼び掛けて秋のブドウ狩りやリンゴ狩り等でバス旅行を企画して、会員同士の交流を深めるとともに、高齢者世帯の生活現況の把握に努めました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

ふれあいサロン活動等を通じて生活習慣の見直し改善、介護予防について参加者の意識が向上して日ごろの活動意欲、積極的にサロンに参加する人が多くみられる。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 7回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・老人クラブ参加者（対象者数55人）
- 目的 福祉活動における対象者との福祉情報の共有と交換・資質の向上

●実施事業

- ・見守り・声かけ訪問活動

高齢者世帯、一人暮らし単身世帯等の日々の見守りと声かけ訪問等で安否確認と声かけ訪問等で安否確認と世帯内の変化等を速やかに把握した活動が出来た。

- ・一人暮らし在宅高齢者等へカレー昼食懇談会を実施

町内会行事でカレー昼食会等に合わせて、高齢者世帯に参加してもらう行事を実施して、世帯の生活現況に努めました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所・その他（新聞記事、インターネット記事）

●事業成果

見守り、声かけ訪問活動は福祉委員同士、民生

委員さんのアドバイスなどを活用して適切に実施できた。ただし会員さんの同居家族で高齢者がいるのを把握していない事例が発生した時は個人情報管理が厳しいとはいえ反省事案です。

東郊町内会

福祉委員人数	16人	世帯数	530
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 町内会長・民生委員児童委員・福祉委員（対象者数16人）
- 目的 福祉委員活動の計画協議・情報交換
- 実施事業
 - ・福祉委員会その他会議福祉活動の協議及び計画と実践、高齢者の生活状態、健康状態の確認報告

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年実施
- 対象者 高齢者・独居高齢者（対象者数120人）
- 目的 健康状態・生活状況の把握
- 実施事業
 - ・対象者宅戸別訪問健康状態と生活状況の把握と確認。町内見回り活動を行った。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 高齢者世帯、独居高齢者（対象者数120人）
- 目的 高齢者の孤立防止と親睦、交流
- 実施事業
 - ・給食サービス実施年2回町内会館にて手作り料理で食事会。ゲーム・カラオケ・レクリエーション等で親睦を図った。

- ・除雪支援

高齢者宅を12月から3月まで除雪支援を行った。

- ・熟年部活動支援

毎週水曜日と土曜日にいきいき百歳体操を行っている。

豊里町内会

福祉委員人数	21人	世帯数	700
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 年1回
- 対象者 高齢者（70歳以上120人）
- 目的 福祉部の活動の理解と協力をしてもらう
- 実施事業
 - ・福祉部だより「つながり」を発行年間の行事や福祉部の活動内容を載せて話題の中で参加のお願いをする。
回覧で回しても若い世代の家では中を見ずに次のお宅へ渡してしまうことが多いので、本人に直接手渡しをしている。
- 事業成果 福祉部の事業に参加をする人が増えてきている。これからも続けていきたい。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 年1回敬老の日に合わせて実施
- 対象者 高齢者世帯（町内豊寿会）町内会役員等（対象者数150人）
- 目的 お祝い行事を通じて交流
- 実施事業 町内福祉部の一大イベントとなっている「敬老会」。毎年新メンバーが一人二人と参加してくれる。集合写真を撮って福祉だよりに掲載している。福祉部メンバーの余興としてダンスや歌を披露して楽しんでいる。参加者の中から、特技のある方に自由参加で出ていただく。足腰の不自由な方は送迎をして参加していただいている。当日参加できなかった世帯にはお祝いの品を持って訪問

している。

●事業成果

参加者同士で誘い合って参加してくれている。

3 福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 福祉対象者（70 歳以上）
（対象者 120 人）

●目的 高齢者・障がい者の把握と情報協力

●実施事業

主に高齢者・独居者の方の情報を共有し声掛け訪問をしている。高齢者のいる若い世帯の町内会脱会もあり訪問できない家もある。他地域から子どもと同居で来ていても把握がなかなかできない。班長さんとの連携も必要。年末には独居世帯や心配な方へ民生委員とともに訪問している。介護予防サロンの参加を呼び掛けている。週 4 回 1 回 20 人くらいが参加している。

●事業成果

恒例となり顔を覚えてくれて色々話をしてくれるようになった。信頼をしてもらっている。



あけぼの団地町内会

福祉委員人数	7 人	世帯数	180
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

●実施回数 8 回

●対象者 福祉委員（対象者数 7 人）

●目的 福祉委員会

●実施事業

・福祉に関する情報の共有

福祉対象者の状況・情報共有

・福祉部活動の協議

事業の実施検討及び実施後の結果反省

・福祉委員の資質向上

研修会、説明会等への参加・伝達

・福祉関連行事への参加

町内会の行事、関連機関の行事

●事業成果

会議は全委員の出席可能な日を選んで月 1 回程度開催し、事業実施時の役割分担など、全委員で協議し決定する場としている。また、実施した事業の反省点や改善を要する事項も、委員会で話し合っている。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 6 回

●対象者 福祉対象者（町内会員も可）
（対象者 50 人）

●目的 映画鑑賞会・日帰り旅行・ふれあい餅つき交流会・新年交流会

●実施事業

1. 映画鑑賞会（2 回実施）

・映画鑑賞の目的

高齢者や障がいのある方に外出の機会を確保することを目的とし、映画終了後は福祉委員の手づくりで軽食を全員で食べる。なお映画鑑賞者から 100 円を徴収して費用の一部に充てる。

・映画の鑑賞

参加者全員が一緒に声を出して笑える作品としています。例）寅さんシリーズ、釣バカ日誌、綾小路きみまろ爆笑シリーズ。（殺人シーンのあるものや、深刻な内容のもの及び涙を流す作品は除外しています）

・食事中に各種情報などを提供して注意を喚起しています。（健康管理、振込み詐欺、交通事故、火の取扱いなど）

・11 時 45 分頃から食事が始まり 13 時頃終わります。

2. 日帰り旅行（参加人数 40 人）

・福祉バスを利用して高齢者・高齢独居者・障が

い者を対象として日帰り旅行を行った。

・福祉委員及び町内ボランティア会の協力を頂く。
配偶者など家族の随行をお願いする対象者も居るが、車椅子対応などはボランティアが対応している。

・気軽に参加できるように一人 1,500 円を負担していただき、車中での飲食を始め入場料、保険料及び昼食等はすべて福祉部で負担。

・移動中のトイレが一番の心配ごとと思われることから、1 時間に 1 回程度のトイレタイムを確保。施設見学等の移動（歩行）時間は余裕を持った計画とする。

・参加者の疲労を避けるため、強行軍とならないように配慮。（移動距離、見学時間）

3. 敬老と長寿をお祝いする会

・75 歳以上の高齢者に福祉委員が訪問して案内文書を手渡し「敬老の日（9/16）」に連動したお祝いを 9 月 29 日に実施した。

・福祉委員が主体となった「手作り」の祝賀会をし、料理等は食中毒の発生を懸念してすべて営業店から購入する。（吸い物は別）

・歩行困難者や車いすを使用しているものは、福祉委員が自宅までの送迎を行う。

4. ふれあい餅つき交流会

・子どもたちに古来の伝統行事「餅つき」を体験させる。

・臼で餅をつく、餅を丸める、餡を入れて丸めるなどの一連作業について高齢者など経験者の指導を頂いて実施。

・一連の作業が終わったら出席者全員で「餡餅、きな粉餅、納豆餅」を食する。

・子ども会代表、保護者代表及び福祉委員の 3 名で高齢者独居宅を訪問し、出来立ての餅をプレゼントした。

5. 福祉対象者の新年交流会

・積雪期に外出機会の確保、仲間との語らいの場を提供することを目的に、正月気分が薄らぐ 2 月 18 日に開催。

・福祉委員が手作りで「おもてなし」をすることを目的。

・歩行困難者や車椅子を使用している者には福祉

委員による送迎を行う。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・町内ボランティア会員

●事業成果

映画を楽しみに待っている方が多く人数は大体 30 名前後が集まっています。歩行が多少不自由な方も含めて上映時間までに集まっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、鑑賞会は 1 回中止をした。

日帰り旅行は毎年楽しみにしている方が多く、人数は約 30 人程度が参加。福祉対象者と福祉委員及びボランティア参加者との交流

長寿をお祝いする会は、町内の高齢者同士の交流の場となっている（対象者 70 名参加）。高齢者と福祉委員との交流が図られ、その後の訪問活動が容易になっている。有志による余興が繰り広げられ、笑顔と笑い声が響いている雰囲気であった。

ふれあい餅つき交流会は、高齢者の伝統行事を体験したことで、子どもたちには高齢者に教えを請う姿勢が見受けられた。参加できなかった独居高齢者宅を子ども会の代表が訪問して餅を届けたことは喜ばれた。

福祉対象者の新年交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

日の出東町内会

福祉委員人数	3 人	世帯数	121
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 5 回

●対 象 者 福祉委員・民生委員児童委員
町内会三役（対象者数 10 人）

●目 的 福祉委員、民生委員児童委員を中心とした役員間の情報等共有

●実施事業

・福祉会議

各種行事前に開催し、行事の確認・協議・検討を実施した。各種行事の参加・不参加等を把握

し、高齢者・単身者・障がい者等の健康等の情報を共有した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

委員間の意思の疎通・情報の共有化を図り、地域福祉活動を円滑に推進できた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 通年

●対象者 全町内会員（対象者数 281 人）

●目的 災害時における要支援世帯（者）及び日常の健康状況の把握等

●実施事業

・会員名簿の作成、更新（26 年度に作成）

新たに町内会加入した会員や世帯内の人員・健康等把握し、災害時等に活用できるよう最新の状態にし、最小限の担当者（会長以下 6 名）に配布した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

要支援世帯（者）の把握ができ、敬老慰安会等の人員掌握等（年齢確認）にも活用できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2 回

●対象者 高齢者・子ども（対象者数 100 人）

●目的 高齢者の孤立防止と子どもを含めた仲間づくり

●実施事業

・敬老慰安会（高齢者参加者 29 名）

70 歳以上の高齢者を招待し、食事をしながら演芸・カラオケ・ゲーム等を他の会員とともに楽しんだ。

・餅つき（高齢者参加者 20 名）

伝統文化継承を兼ね、高齢者・子ども達を含めて餅の「つき方」・「丸め方」等を体験し、参加者全員で会食した。子どもたちの参加が少なかったが、高齢者と子どもたちとの交流も深めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

敬老慰安会は参加者全員が一体となり交流を深め、高齢者の孤立防止と仲間づくりが出来た。

餅つきは若い家族の参加もあり、餅の「丸め方」「餡の詰め方」等を体験した。初めての餅つきをした子ども達もいて親子で楽しんだ。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年

●対象者 高齢者・障がい者・単身者（対象者数 88 人）

●目的 地域の支え合いと孤立防止を図る

●実施事業

・見守り、声かけ活動

各班長が町内会費徴収や各種募金等で訪問の時に声かけを実施し、健康状況を把握した。

・町内秋各種行事へのお誘い

観桜会・夏祭り・敬老慰安会等町内会各種行事への参加をお誘いし、多数の方々が参加しました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員・班長・会員等の情報により孤立死等もなく、地域の支え合いと孤立防止を図ることができた。

日の出北町内会

福祉委員人数

3 人

世帯数

126

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 12 回

●対象者 福祉委員・町内会役員・民生委員児童委員（対象者数 17 人）

●目的 福祉活動における町内会役員、福祉委員及び民生委員児童委員との情報の共有並びに協力体制の強化を図る

●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の検討、並びに災害時要支援者及び独居高齢者に関する情報交換の実施。毎月1回実施。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

情報を共有することにより、地域福祉活動が円滑に実施できた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通して実施

●対象者 高齢者及び障がい者世帯
(対象者数 40 人)

●目的 要支援世帯等の状況把握並びに独居高齢者等の引きこもり防止を図る

●実施事業

- ・要支援世帯の把握
- ・独居高齢者に対する声かけ
- ・救急カードの更新及び普及活動

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

支援が必要な世帯を把握し、支援要領等を検討し支援者側の意思の疎通が図れた。

見守りや声かけを日常的に実施し、高齢者等の引きこもり防止が図れた。

また、救急カードの設置確認により、特に高齢者の見守りが実施できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1 回

●対象者 町内子ども会・両親・高齢者等
(対象者数 70 人)

●目的 クリスマスパーティーを通じて町内会員相互及び幼児等との親睦を深め、子育ての一助とするとともに世代間交流を図る

●実施事業

- ・子ども会中心のクリスマスケーキ作成
- ・子ども会を対象としたゲームの実施
- ・子ども、両親及び高齢者の3世代でのクリスマスパーティーの実施。

●事業成果

各世代間の交流を通じて、子育て支援及び子どもの健全育成に寄与した。

独居高齢者の孤立防止に寄与した。



梅ヶ丘1丁目町内会

福祉委員人数	6 人	世帯数	106
--------	-----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1 回

●対象者 町内会員（対象者数 265 人）

●目的 町内会員のふれあい、語り合い

●実施事業

8月3日、土曜日の12時から15時の間、昔の村祭りを町内の梅ヶ丘公園で実施しました。

誰でも参加しやすいように参加費を1,000円とし、18歳以下は無料で実施しました。参加者は、70歳以上のお年寄り17人、子ども20人、一般37人の計74人となりました。特に、70歳以上のお年寄りには、福祉委員が案内状を直接手渡しする等工夫を凝らしました。当日は足が不自由なお年寄りには福祉委員がサポートしました。メニューはお年寄りに、焼きそば、ジンギスカン、お父さんにはビールと焼き鳥、子どもにはゆでそば、綿あめ、カキ氷、フランクフルト等に舌鼓を打ってもらいました。5年前からの恒例「流しそめ

ん」を本年も実施しました。これは高齢者から子どもまで大変人気があり大いに盛り上がりました。お楽しみとして、大人も子どももパン食い競争を実施し、小学生以下にはスイカ割りを行い割れたスイカを皆で頂きました。一大イベントの抽選会は夢ピリカ（5kg）がたくさんの人に出たところで終了

4年前から公園のあずまや四阿の上部に納涼親睦会の横断幕を新設し、村祭りの雰囲気を取り上げました。おじいちゃんおばあちゃんと孫はこれを背景に記念写真をパチリ。終了後はゴミゼロ運動で皆に片付けを協力いただき解散。

●事業成果

参加者全員に名札をつけてもらったことから会話がスムーズに運びました。互いに町内会の人であることが理解され、ふれあいが深められました。

旭ヶ丘町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	480
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5回
- 対象者 役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数16人）
- 目的 福祉活動の情報交換、情報の共有、資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会義（福祉委員）

福祉事業活動の細部計画の検討・打ち合せと、情報交換、課題等を協議した。

年5回：4月、6月、8月、12月、2月

- ・福祉会同（役員、福祉委員、民生委員児童委員）

情報の交換、情報の共有を図った。

年2回：6月、12月

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・祝寿会

●事業成果

福祉委員相互の連携のため、情報の共有化、活

動の細部要領・成果の確認等。次回実施への教訓等を確認・打合せを行った。

特に高齢者とのコミュニケーションの助長と実施間の安全等の配慮・気配り等の要領を話し合うことで、委員の資質向上につながった。

福祉会同では町内会役員、福祉委員、民生委員の3者会同を実施した。特に、情報の共有化問題点及び注意すべき事項等をそれぞれの立場で意見を述べ、課題等を協議した。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年1回以上
- 対象者 救急・高齢者
- 目的 「救急カード」の見直し・確認をする

●実施事業

- ・「救急カード」は、もしもの時の救急搬送に備えて名前・持病・緊急連絡先を記入し、迅速な救命に向け救急隊や病院が活用するものとして丁寧に説明した。特に救急隊員の見やすいところ、場所に掲示をお願いした。
- ・救急カード配布済みのカードの修正を実施した。
- ・訪問時、併せて近況等をお聞きし、家族状況等の変更等を確認・把握した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

町内会全世帯に対し、配布済みの救急カードの修正及び家族状況の変更等を把握し、名簿の修正と災害時の要支援者の把握につながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 高齢者・町内会役員（対象者50人）
- 目的 町内会パークゴルフ大会・ふれあいサロン

●実施事業

- ・パークゴルフ（年2回）

パークゴルフを通じ参加者の親睦・交流を図った。大会終了後、現地で昼食（ジンギスカン・

おにぎり)を食べ交流会を実施し参加者の親睦・交流を図った。参加費一人 500 円

・ふれあいサロン

四半期に 1 回、年度 4 回町内会館においておしゃべりや食事、レクリエーションなどを行った、高齢者と役員等の交流を図った。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ(祝寿会)・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

町内会請負事業のパークゴルフ場(使用料無料)を利用して春・秋各 1 回の「町内会パークゴルフ大会」を町内会員と高齢者との交流を兼ねて実施した。町内会員・高齢医者・障がい者(グループホーム)を積極的に招き、参加者間のつながりを持つことができた。町内会館で「介護予防いきいき百歳体操」のほか、おしゃべり、ゲーム等を行って高齢者間の交流を図った。「いきいき百歳体操」「かみかみ百歳体操」は健康増進の意識向上につながり、毎回熱心に参加される方や、参加者間で参加の呼びかけをするなど高齢者の閉じこもり防止につながっている。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 12 月～3 月

●対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 11 世帯)

●目的 高齢者・障がい者宅除雪支援

●実施事業

- ・実施前、支援者宅の状況を福祉委員・民生委員により希望等を細部調査、実施し希望を募り、町内会員からボランティアを募集し、支援者が除雪必要(10～15cm 以上基準)として除雪の担当者を基本的に必要世帯 1 件に対し 1 名で実施した。
- ・福祉委員が担当地域の 75 歳以上の方へ年賀状により新年のご挨拶を実施した。福祉委員自ら住所及びコメントを手書きにより、本年 1 年の感謝と新年を祝賀する内容等として実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

除雪支援対象世帯数 15 世帯

除雪ボランティア数 14 人

除雪支援回数 218 回

延除雪支援人数 241 人

今年は降雪が例年より少なかった。除雪支援ボランティアの方は熱心に自宅の除雪同様に担当宅の除雪に、感謝のお言葉を頂いた。

福祉委員担当の 75 歳以上の方への年賀状で新年の挨拶を実施した。担当者の手書きによる挨拶は好評で、一人暮らしで身よりのない方からは、感謝の年賀状やお言葉をいただいている。

弥生町内会

福祉委員人数	20 人	世帯数	720
--------	------	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 14 回

●対象者 福祉委員(対象者数 11 人)

●目的 福祉委員活動における委員間の情報交換、事業の企画・調整

●実施事業

- ・福祉委員定例会(月 1 回)

福祉活動計画と執行、委員間の情報交換・活動の分担、課題の共有を行った。

- ・研修会等への参加

地域福祉に関する研修会、フォーラムに参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5回
- 対象者 概ね 70 歳以上の高齢者及び一人暮らし高齢者(対象者数 400 人)
- 目的 ふれあいを深め楽しみ、学びあい、生きがいをもつ
- 実施事業
 - ・ふれあいサロン（年 3 回）
音楽鑑賞、ゲーム、DVD 鑑賞、食事会等
 - ・弥生町内会敬老会（年 1 回）
70 歳以上の高齢者を招待し、食事や余興を通して高齢者との交流を図った。
 - ・ふれあい日帰り旅行（年 1 回）
温泉施設の利用を通して会員同士の交流を図り、併せて高齢世帯等の現状の把握に努めた。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会
- 事業成果
一人暮らし高齢者の安否確認や健康状態の把握、参加者同士の交流により近隣のつながりづくりにつながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（120 人）
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる
- 実施事業
 - ・見守り声かけ訪問活動
一人暮らし高齢世帯等に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
 - ・生活支援活動
一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、降雪時は除雪ボランティアを行いました。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者の

孤立防止につながった。また、生活上の困りごとに対する相談や細やかな支援により、安心して生活できる環境づくりにつながった。



寿町内会

福祉委員人数

20 人

世帯数

690

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 31 回
- 対象者 町内会長・民生委員・町内会役員
福祉委員
- 目的 情報の交換・共有
- 実施事業
 - ・福祉委員会（3 ヶ月に 1 回）
年 4 回実施。町内敬老会、招待状の準備、打合せの臨時委員会 5 回
 - ・町内会役員会（毎月第 3 日曜日）
町内会の各委員からの報告及び情報交換
 - ・交通安全見守り
毎月第 2 水曜日 朝 7 時 30 分～8 時 00 分までの間（夏休み、冬休み、休日は除く）。
学童の通学時間に寿町内会 3 か所の通学路にて安全誘導器、黄色いジャケットを着用し、横断歩道での安全指導、朝のあいさつ、見回り。
- 事業成果
 - ・介護予防体操を通じて今まで知らなかった人と交流が出来ました。
 - ・学童の交通安全見守り時には子ども達から元気をいただいた。
 - ・高齢者を囲む会は、大変喜んでもらい皆様から勇気と元気を頂きましてとても貴重な経験をさせてもらいました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内在住者全員
- 目的 要支援者の状況把握、情報の共有
- 実施事業
 - ・要支援者、高齢者、独居世帯等、災害時要支援者を把握し距離を持って見守り、各活動に対応できるように町内マップに追加確認する。
 - ・既存の緊急連絡網の再確認
 - ・民生委員と協力し、町内在住の名簿作成。
- 事業成果
今年も高齢者の情報、独居老人等の安否確認を民生委員と協力して見守りをすることが出来ました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 通年を通して実施
- 対象者 町内会員
- 目的 高齢者の健康維持・心のふれあい 敬老会
- 実施事業
 - ・介護予防体操
毎月第3木曜日にいきいき百歳体操やかみかみ百歳体操、脳トレなど町内会館で行った。
 - ・ふれあいサロン（年6回11月～4月実施）
不定期に女性部の手料理をいただきながら楽しいお話や情報交換を行った。
 - ・高齢者を囲む会（1回）
75歳以上の高齢者を対象に祝梅コミセンにて開催。
その他夏祭り、餅つき、等に協力
- 事業成果
百歳体操は、皆さん楽しみにしており今年は3月がコロナウイルスにより中止になり寂しかったです。高齢者を囲む会では、準備が大変だったけれど高齢者の方が大変喜んでくれ、手作りの料理も大変満足していました。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内会員
- 目的 支え合い・災害時の安否確認
- 実施事業
 - ・緊急連絡網の確認
福祉委員会で委員間での情報交換。
 - ・寒中見舞い
町内行事に参加しない高齢者や要支援者に寒中見舞いのハガキで安否確認。
 - ・除雪支援
冬期間の除雪は民生委員と協力し社協に除雪を依頼。除雪困難者宅の各家をボランティアで除雪作業を行う。
- 事業成果
寒中見舞いのハガキで町内在住の方約70の方にハガキを出したところ大変喜んでいただき、私のところにお礼のお電話がありました。町内住人が高齢化し除雪活動は大変感謝されています。

幌加連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	22
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 15回
- 対象者 高齢者（対象者数22人）
- 目的 幌加地区長寿会の交流と親睦を深める健。健康促進。
- 実施事業
 - ・月例会（茶話会）毎月1回 計12回実施
食事会、レクリエーション、懇談、カラオケ、健康体操など実施。
 - ・社会奉仕活動（春と秋の2回）
道路の空き缶を拾い、公民館周辺の清掃、草刈をおこなった。
 - ・温泉旅行
7月と11月に1泊温泉旅行、5月に日帰り温泉旅行を行った。

・出前講座

泉郷駐在所長による交通安全講習、振り込め詐欺等の注意講習を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

地域の環境保全会との協力、高齢者の安否確認と情報交換。健康促進が出来、参加者同士、地域住民との交流促進につながった。



協和連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	22
--------	----	-----	----

1 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 15回実施

●対象者 高齢者・一人世帯
(対象者数 15人)

●目的 対象者の健康と親睦

●実施事業

- ・対象者の健康・見守り・声かけを行った。
- ・地域の民生委員との連絡を取り必要に応じて巡回しました。
- ・連合会・老人クラブ・地域の集会等に参加し声かけをした

●事業成果

定期的に巡回しているので状況が良くわかるようになりました。次年度は独居者宅を別に回りたいと思います。

新川連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	40
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 5回

●対象者 新川老人クラブ役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 6人）

●目的 環境整備・年間計画作成

●実施事業

- ・道路周りの清掃・花壇づくり

春と秋に清掃を行い、空き缶の回収などリサイクルに参加している。ゲートボール場の周りの花壇づくり、草刈り作業を行った。

- ・事業計画書作り、活動内容を話し合った。
- ・参加者が多数おり、ふれあい・語り合い・楽しく作業している。

●事業成果

千歳市環境センターの協力で今後も継続していきたい。

東丘連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	38
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 6回

●対象者 60歳以上の高齢者・民生委員・老人クラブ（対象者 43人）

●目的 高齢者の親睦の輪を広げる

●実施事業

- ・月例会
 - 4月2日 月例会 寿の家周辺の清掃及びお話し会
 - 6月1日 月例会 お茶会、おしゃべり、カラオケ等
 - 8月1日 月例会 東丘共同墓地清掃後、日帰り温泉（厚真 こぶしの湯）
 - 10月1日 月例会 寿の家周辺の清掃とお茶会
 - 12月10日 月例会 千歳市出前講座（交通安全教室）ビンゴゲーム、カラオケ
 - 2月1日 月例会 出張腰痛教室、脳活問題、お茶会

●事業成果

会員の親睦を図り、近況報告等を話し合うことができてよかった。

支笏湖自治振興会

福祉委員人数	5人	世帯数	120
--------	----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

●実施回数 4回

●対象者 自治会役員・支笏湖小学校PTA役員・福祉委員・消防・警察・青年会役員（対象者数20人）

●実施事業

・拡大福祉委員会

子ども達との交流事業や高齢者に対しての事業、さらには防災から住民を守るために組織されている消防団との連携による福祉関連事業の打ち合わせ等を年4回実施した。特に今学校が推進しているコミュニティスクールについては町場と違い支笏湖地区はどのようなことができるか論議を重ねた。

●事業成果

福祉委員と地域団体との連携の強化につながり、消防団との連携も高齢者や子ども達の安全を考える上で大きな成果となった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 8回

●対象者 自治会員全て（対象者数150人）

●目的 地域住民の交流

●実施事業

・早朝清掃活動（5回）

小学生・老人クラブ・青年会・自治会等各種団体で清掃活動を行った。5/30と9/27は、支笏湖のまちづくり団体(NPO)が主催している国道453号線のゴミゼロキャンペーンにも連動し大々的に行った。

・スポーツ交流会（1回）

皆で体を動かし楽しく交流をした。

・なかよし集会（1回）

支笏湖小学校が中心となり高齢者を含む地域の方々を子どもたちが招待し、一同ゲームやクイズで楽しいひと時を過ごした。

・支笏湖クリスマス・大忘年会（1回）

一年の締めくくりを地元街づくり団体（NPO法人支笏湖街づくり機構 Neo ステージ）の協力のもとクリスマスと忘年会を町ぐるみで行った。（子どもを含め80名参加）

●事業成果

地域住民（特に高齢者）が支笏湖小学校の生徒とともに交流を重ねることは、地域全員で子どもを育てるという意識の向上だけではなく、子ども達の郷土愛も育まれ、さらには災害時におけるネットワークの強化にもつながっている。子ども達や地域の住民だけでなくホテルや旅館等の職員も参加いただき、普段できない交流が実現した。学校が推進するコミュニティスクールの起爆剤となっている。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者（対象者数20人）

●目的 一人暮らし高齢者・高齢者世帯を中心に災害時の対策として

●実施事業

・見まわり、安全確認

各家を訪問し、自分達ではできない作業（電球の交換、物の移動、物の修理など）を支援することに努めた。冬道の凍結場所の融雪剤や砂の散布など。

・高齢者への生活支援活動

当地は交通が不便であり、更には生活用品及び食料品の販売店がないため、代行して買い物などを行う活動をしたら好評であったので、今年もできる限り声をかけるように努めた。年度末にかけては新型コロナウイルスに対するマスクなどの支援も行った。

・除排雪の支援活動

今シーズンは雪が例年より少なかったが、3月に入り集中して雪が降ったため急遽ストー

ブの排気口などに覆われた箇所の除雪の出動があった。支笏湖消防団や消防署の署員の協力も得られ安全な状態に確保することが出来た。

●事業成果

自治会の集まりにも地域住民の参加はもちろん、高齢者の皆さんの参加が活発になった。最近のコロナウイルス対策は地域が一体となってこの地域から出すものかという気持ちを感じた。本事業に参加をし、地域住民同士のコミュニケーションが根付いている証と思う。



ゆうまい町内会

福祉委員人数	30 人	世帯数	1027
--------	------	-----	------

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 通年実施
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 40 人)
- 目的 福祉委員活動における情報交換
及び共有・資質向上
- 実施事業
 - ・福祉部会
福祉活動の協議・計画・実施を行った。
 - ・福祉委員会
年間を通して救急カード事業啓蒙を行った。
 - ・福祉通信「YOU・MY・便」発行（年3回）
町内会回覧
 - ・福祉研修会への参加
- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

福祉部会などを通じて、情報交換ができています。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4 回
- 対象者 高齢者・障がい者・福祉委員
(対象者数 141 人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・ふれあいサロン
5 月 19 日：昔なつかしい遊び
7 月 7 日：ミニ運動会・ストレッチ
9 月 8 日：いきいき百歳体操
11 月 10 日：いきいき学芸会
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター
- 事業成果

少しずつ新しい参加者も増えて、参加者同士の親睦も深まっています。

みどり団地 1 号棟自治会

福祉委員人数	4 人	世帯数	58
--------	-----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12 回
- 対象者 自治会長・役員・福祉委員（対象者数 48 人）
- 目的 福祉委員活動と自治会の連絡網
及び情報共有
- 実施事業
 - ・福祉委員会
活動の協議、検討及び情報交換（不定期）
- 事業成果
自治会からの情報が多くなった。対応がはやくなった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通して実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 48 人)
- 目的 要支援世帯の把握
- 実施事業
 - ・要支援世帯の調査・把握定期的に要支援世帯を調査、把握する。
- 事業成果
調査により支援及び対応が向上した。
市役所は何もできないと回答するので頼らないことにした。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 14 回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども
(対象者 55 人)
- 目的 高齢者の孤立防止・絆の構築
- 実施事業
 - ・ふれあいサロン（5 回）
内容 皆さんで食事を作る、おしゃべり、会食
 - ・訪問 自治会役員と訪問
- 事業成果
安否確認や健康状態の確認ができた。訪問により相談が増えた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通して実施
- 対象者 高齢者・障がい者（48 人）
- 目的 団地内での支え合い・連携
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ
隣近所及び班長が声かけ、見守り
 - ・生活支援
訪問看護か必要か状況の把握、ヤマセミねっとの説明、促進
- 連携・協力機関及び団体
老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所
- 事業成果

- ・近隣の協力で安否確認や健康状態の確認が出来た。
- ・孤立防止及び生活の質の維持ができた。

北栄団地 3 号棟自治会

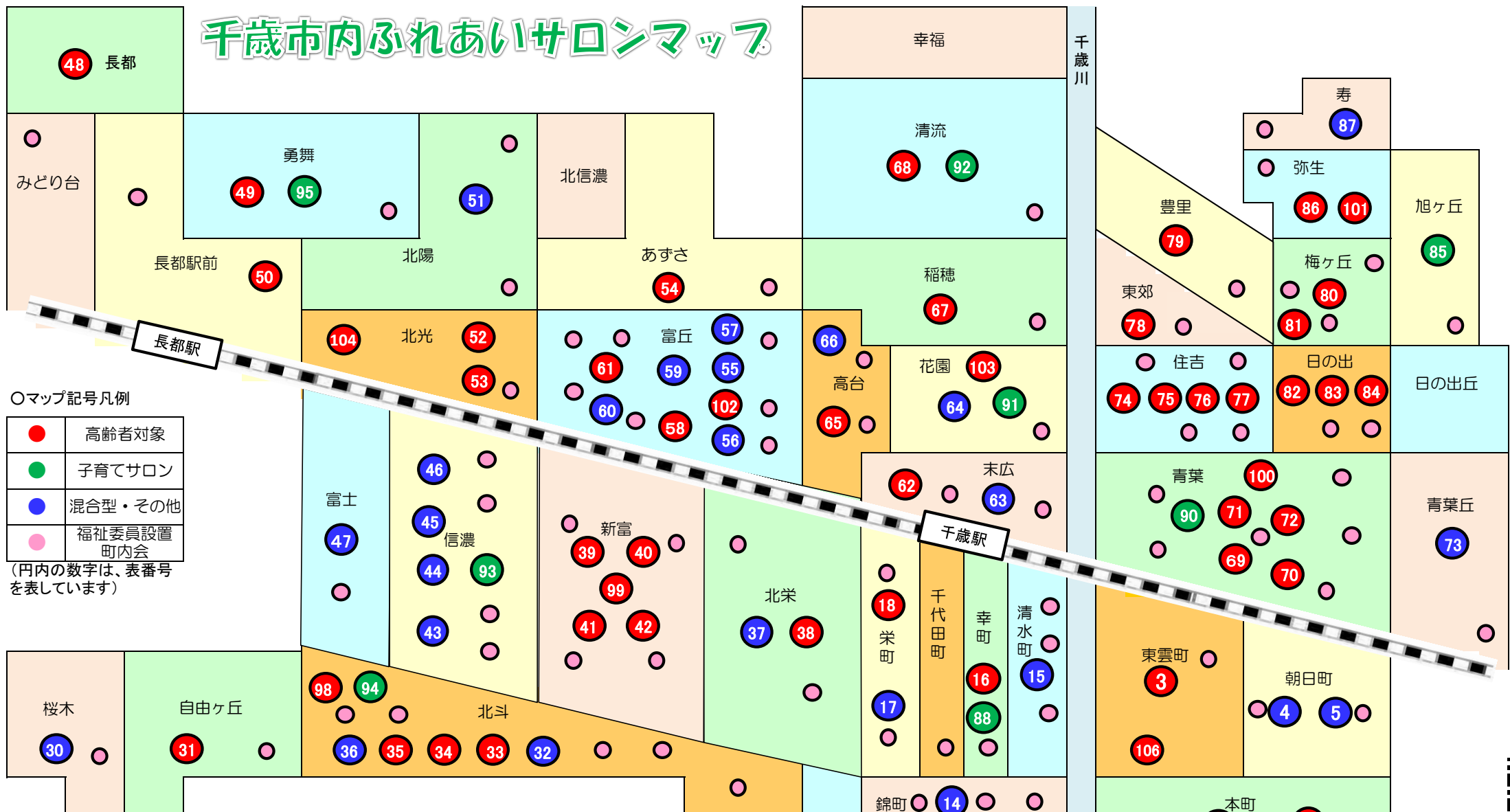
福祉委員人数	2 人	世帯数	23
--------	-----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 4 回
- 対象者 町内会役員・福祉委員（対象者数 3 人）
- 目的 福祉活動の情報交換・情報の共有
資質向上
- 実施事業
 - ・福祉委員会（3 ヶ月に 1 回実施）
福祉活動の協議、見守り世帯に関する情報交換と課題の共有
- 事業成果
福祉に関する理解浸透が図られた。福祉活動に関心が高まり福祉委員同士の連携強化につながった。

資料編

千歳市内ふれあいサロンマップ



○マップ記号凡例

●	高齢者対象
●	子育てサロン
●	混合型・その他
●	福祉委員設置 町内会

(円内の数字は、表番号
を表しています)

ふれあいサロン実施町内会及びサロン活動内容一覧

No.	町内会名	サロン名・活動内容	No.	町内会名	サロン名・活動内容	No.	町内会名	サロン名・活動内容
1	本町自治会	茶話会・食事会	33	北斗2丁目	介護予防サロン	65	高台	介護予防サロン
2	本町南自治会	ふれあいサロン	34	北斗3丁目	ふれあいサロン会	66	東高台	ふれあい・語らい
3	東雲町4・5丁目	介護予防サロン	35	北斗西	ふれあいサロン	67	稲穂	介護予防サロン
4	朝日町西	木曜サロン	36	北斗北	いきいきサロン	68	清流	ふれあいせりゅう
5	朝日町東	会館開放サロン	37	北栄南	介護予防サロン	69	青葉2丁目	介護予防サロン
6	真々地	ままちふれあいサロン	38	北栄東	カラオケサロン	70	青葉3丁目	一人暮らし高齢者とパークゴルフ
7	若草	介護予防サロン	39	新富北	ふれあいサロン	71	青葉5丁目	介護予防サロン
8	白樺	ふれあいサロン白樺	40	新富中	いきいきサロン	72	青葉6丁目	きらく会
9	里美	介護予防サロン	41	新富西	サロン会	73	青葉丘	ふれあい会食会
10	柏陽	ふれあいサロン	42	新富東	いきいきサロン	74	住吉2丁目	ふれあいサロン
11	福住	介護予防サロン	43	信濃1丁目	茶話会	75	住吉北	いきいきクラブ
12	文京1丁目	ゆうゆうサロン	44	信濃2丁目	ふれあいサロン交流会	76	住吉4丁目	茶話会
13	文京	ぶんぶん健康サロン	45	信濃3丁目	おたのしみサロン	77	住吉5丁目	ふれあいサロン
14	錦町3丁目	観桜会	46	信濃4丁目	ホームサロン陽だまり	78	東郊	サロンえんがわ
15	清水町5丁目	懇親会	47	富士	いきいきサロン	79	豊里	いきいきサロン
16	幸町連合会	ふれあいサロン	48	長都	介護予防サロン	80	梅ヶ丘1丁目	広域サロン雀の会
17	栄町西区	さくら会	49	ゆうまい	ふれあいサロン	81	日の出北	ふれあいサロン
18	栄町東	ふれあいサロン	50	長都駅前	介護予防サロン	82	あけぼの団地	介護予防サロン
19	みどり団地1号棟	ふれあいサロン	51	おさつ団地	介護予防サロン	83	日の出南	ふれあいサロン会
20	緑町2丁目	介護予防サロン	52	ひばりヶ丘	介護予防サロン	84	日の出東	ふれあいサロン
21	春日町3丁目	あったかサロン、夕方サロン	53	静和	いきいき百歳体操サロン	85	旭ヶ丘	いきいきサロン
22	大和1丁目	なでしこ会	54	あずさ	介護予防サロン	86	弥生	やよいふれあいサロン
23	大和2丁目	介護予防サロン	55	富丘1丁目南	いきいき百歳体操サロン	87	寿	介護予防サロン
24	大和3丁目	介護予防サロン	56	富丘1丁目	ふれあいサロン			
25	やまとの杜団地	やまとサロン	57	富丘2丁目	ふれあいサロン			
26	桂木1・2丁目	いきいきサロン	58	富丘3丁目南	いどばた交流会			
27	桂木3・4丁目	お楽しみ交流会	59	富丘3丁目北	いきいきサロン			
28	桂木5・6丁目	ふれあい健康マージャンサロン	60	富丘4丁目東	ふれあいサロン			
29	新星	子供と高齢者の交流	61	富丘西	いきいきサロン			
30	桜木	いきいき百歳体操	62	末広東	介護予防サロン			
31	自由ヶ丘	歌声サロン	63	末広中区	昼食会			
32	北斗南	ふれあいサロン	64	花園	三世代交流			

新星・蘭越・支笏湖

● 29

この資料は、赤い羽根共同募金の配分金により作成されました。



○マップに掲載されているサロンは、小地域ネットワーク活動推進事業実施報告書等より抜粋したものです。
○活動内容の変更や記載漏れ、誤り等がありましたらお知らせください。
○新たなサロン活動の情報も随時受け付けております。

ふれあいサロンの詳しい内容についてのお問い合わせは、
千歳市社会福祉協議会
地域福祉課地域福祉係 まで
TEL 0123-27-2525
FAX 0123-27-2528

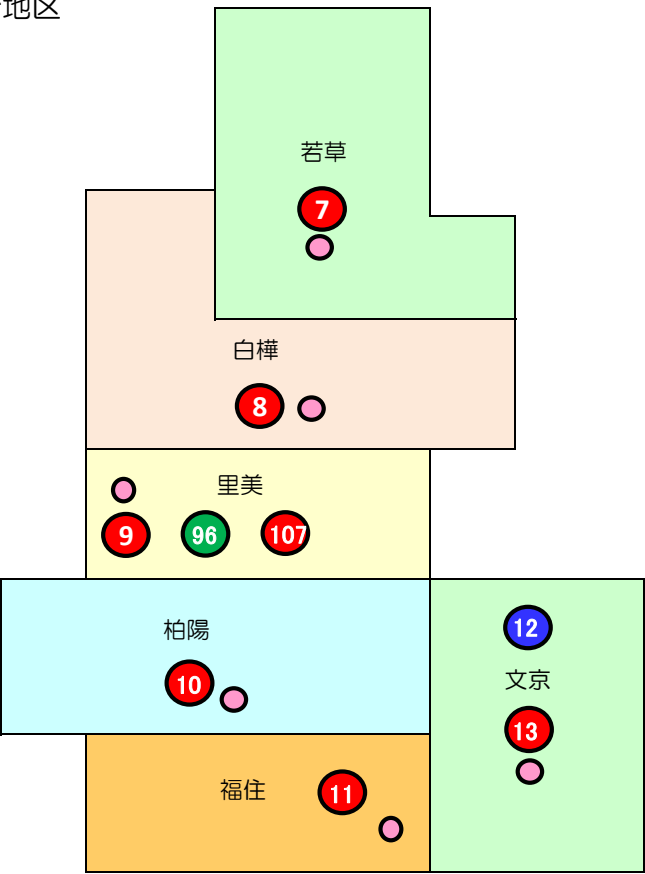
No.	地区名	サロン名	場所
88	第2地区	メリーゴーランド	千歳タウンプラザ
89	第3地区	ちびっこあつまれ	あんじゅ児童館
90	第4地区	みんなであ・そ・ぼ	ひので児童館
91	第5地区	子育てサロンとことこ	花園コミセン
92	第5地区	子育てサロン（清流）	せいのりゅう児童館
93	第6地区	ばる〜ん	しなの児童館
94	第7地区	北桜遊ひろば	ほくおう児童館
95	第8地区	ゆうまい子育てサロン	ほくよう児童館
96	第10地区	ハッピーひろば	向陽台コミセン

※千歳市ホームページ掲載内容より抜粋

千歳市介護予防事業「介護予防教室」

No.	開催場所	No.	開催場所
98	北桜コミュニティセンター	103	花園コミュニティセンター
99	北新コミュニティセンター	104	おさつタウンセンター
100	鉄東コミュニティセンター	105	ダイナックスアリーナ（スポーツセンター）
101	祝梅コミュニティセンター	106	総合福祉センター
102	富丘コミュニティセンター	107	泉沢向陽台コミュニティセンター

向陽台地区



発行：社会福祉法人千歳市社会福祉協議会
※掲載内容は、令和2年11月1日現在の情報を基に作成しています。

令和元年度小地域福祉ネットワーク活動推進事業（小地域たすけあい福祉活動）実施要項

1. 目 的

いま、地域の中ではひとり暮らしの高齢者の孤独死や子どもの虐待など様々な地域課題が生まれており、その背景には地域連帯の希薄化があります。孤独死などのない社会、地域連帯にあふれた潤いのある地域社会づくりをすすめるためには、地域福祉に対する住民の意識啓発、ひとり暮らしの高齢者等の要援護者にとって身近な近隣住民による支援活動の展開こそが、最も大切になってきています。

本事業は、より一層地域でのたすけあい福祉活動の深まりと「福祉委員」活動の広がり充実を願い、各々の地域にあった創意ある福祉活動の推進をはかり、地域連帯にあふれた豊かな地域づくりを目指し、この事業を展開します。

2. 主 唱

千歳市社会福祉協議会

3. 実践主体

事業目的にご賛同いただき、福祉委員を配置している単位町内（自治）会

4. 実践活動の内容

町内（自治）会の福祉委員・町内（自治）会役員・地域住民の協働による小地域たすけあい福祉活動を実施するのにあたり、次の事項を留意していただいた事業展開をお願いします。

①対象者

ひとり暮らしの高齢者や高齢者を介護する家族、障がい者や子育て家庭等に対する支援活動や活動の啓発、普及にかかわる実践活動を対象とします。

②実践活動事例

具体的な事例としては、他に多くの活動が考えられますので、この事例にこだわることなく地域の実情を反映した活動を進めて下さい。なお、社会福祉協議会や保健センターなどの社会資源を有効にご活用ください。

1) ひとり暮らしの高齢者や障がい者等との会食会・茶話会・交流会

孤独になりがちな方とのふれあいを深めたり、仲間づくりを進めるために、会食会や茶話会等を実施し、暖かい人間関係をつくっていきます。一品持ち寄り会食会なども考えられます。

2) お年寄りと子どものつどい

お年寄りの長年培ってきた豊富な知恵や知識を活かした子どもとの交流を通じてお年寄りの生きがいと子どもに福祉の心を育んでいきます。

3) 子育てサロン

核家族化が進む中、家族や地域の中で助けたり助けられたりしながらの「子育て」ができるよう支援するため、子育て中の親たちが集えるサロンづくりに取り組みます。

4) 住民福祉懇談会

町内会による懇談会をひらき、住民の福祉への理解を深めるとともに、地域のひとり暮らしの高齢者や高齢者を介護する家族、障がい者等に要援護者を町内会としてどう見守っていくかなどを話し合います。

5) 訪問活動

地域の中で孤立しがちなひとり暮らしの高齢者、高齢者を介護する家族、障がい者宅を近隣住民が定期的に訪問し、交流を深めるとともに、日常生活上の相談、買い物や家事の手伝い、安否の確認等をしていきます。

6) 福祉だよりの発行

福祉に関する情報、行事の案内、お手伝いの募集などタイムリーな情報を継続して伝え、住民の福祉への理解や意識を高めていきます。

7) 緊急時の連絡網づくり

地域のひとり暮らしの高齢者、障がい者等の緊急時に対応するため、近隣に人がすぐに駆けつけたり、保健師、ホームヘルパー、民生委員等に連絡したりする連絡網をつくります。

8) 町内会たすけあいチームづくり

地域のひとり暮らしの高齢者、障がい者等が安心して生活していくため、町内会の役員、福祉委員、民生委員、近隣の人等がメンバーとなり、緊急時に対応できるたすけあいの組織づくりを進めたり、連絡会議などを開催します。

9) ボランティア教室

町内会で在宅福祉サービスに参加するボランティアを養成するボランティア教室を開催したり、手話講習会等を開催して町内の聴覚障害者等との交流を図ったりします。

10) 地域のひとり暮らしの高齢者マップ調査やニーズ調査

町内のひとり暮らしの高齢者、障がい者等の要援護者世帯を調査して、地域で見守る体制づくりの資料として活用したり、希望や困りごとを調査して地域で安心して生活できるように対策を検討していきます。

5. 活動費の助成

助成基準額は、別表のとおり町内（自治）会均等割り・世帯構成員割〔世帯数に応じて〕・福祉委員人数割〔福祉委員人数に応じて〕の3区分を合計した金額を交付させていただきます。（別表を参照願います）

なお、福祉委員の助成額については35世帯に1人を上限とさせていただきます。

（問い合わせ先）

千歳市社会福祉協議会 地域福祉課地域福祉係

〔住所〕千歳市東雲町1丁目11番地

〔電話〕27-2525 〔FAX〕27-2528

別表（第4条関係）

助成整理区分	助成基準		助成額
①町内会均等割	小地域ネットワーク活動実施町内会		15,000 円
②世帯構成員割	世帯数		助成額
	1 ～ 100 世帯		15,000 円
	101 ～ 300		20,000
	301 ～ 500		25,000
	501 ～ 1,000		30,000
	1,000 ～		35,000
③福祉委員人数割	世帯数区分	福祉委員配置数上限	助成額上限
	1～100 世帯	3 人	3,000 円
	101～200	6	6,000
	201～300	9	9,000
	301～400	12	12,000
	401～500	15	15,000
	501～600	18	18,000
	601～700	21	21,000
	701～800	24	24,000
	801～900	27	27,000
	901～	30	30,000

- 備考 1 助成額が各整理区分に基づき①+②+③の各単価を合計した額を交付する。
- 2 福祉委員割の助成単価は、基本的に 1,000/1 人による。
- 3 福祉委員の上限は、35 世帯に 1 人を助成額算出基礎とする。なお、福祉委員人数割りにおいて実際の人数がこの上限の人数より下まわるときは、その実数をもって助成の対象とする。



ふれあい・ささえあい・ネットワーク

発 行 社会福祉法人 千歳市社会福祉協議会（担当：地域福祉課地域福祉係）
〒066 - 0042 千歳市東雲町1丁目11番地
TEL (0123) 27 - 2525 / FAX (0123) 27 - 2528

発行日 令和3年1月

印刷・製本 北海道千歳高等支援学校

この報告書は、赤い羽根共同募金の配分金により作成されました。

